資料３

関係人口の農林漁業及び農山漁村への関わり

【都市から地方への動き】

令和3年3月18日
国土交通省　国土政策局　総合計画課

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Ⅰ．関係人口の概要

1. 三大都市圏居住者の日常生活圏、通勤圏以外の地域との関わりの状況

国土交通省

○　三大都市圏の18歳以上の居住者（約4,678万人）のうち、約18%（約861万人）が関係人口として、日常生活圏、通勤圏等以外の特定の地域を訪問している。【新型コロナウイルス感染症拡大直前】

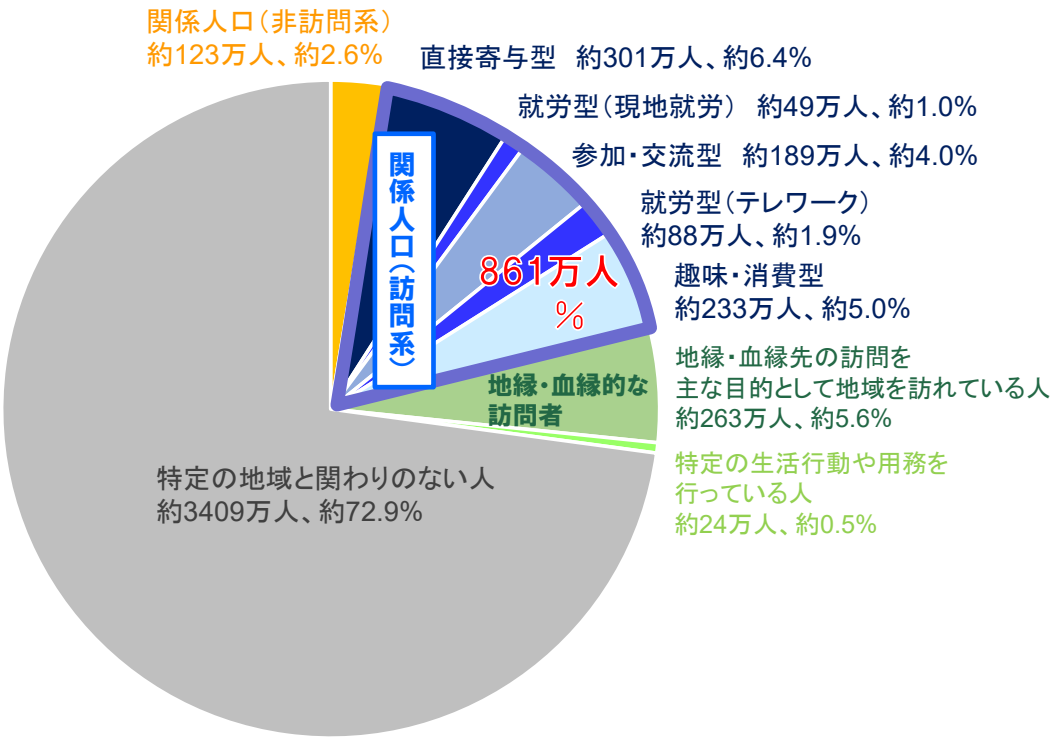
推計の概要

〇三大都市圏に居住する約7.5万人に対してインターネットアンケートを実施（18歳以上の男女、74,579人が有効回答）
〇調査対象地域の18歳以上の人口（約4,678万人）に基づき、男女比率及び年齢構成（4年齢区分）を踏まえて母集団拡大推計を実施

用語の定義

【関係人口（訪問系）】
　日常生活圏、通勤圏、業務上の支社・営業所訪問等以外に定期的・継続的に関わりがある地域があり、かつ、訪問している人（地縁・血縁的な訪問者を除く）
＜大分類＞地域における過ごし方に応じて分類
【直接寄与型】
　産業の創出、商店街の空き店舗有効活用の活動、朝市・マルシェへの出店活動、ボランティア、地域資源・まちなみの保全活動、まちおこし・むらおこしにつながるようなプロジェクトの企画・運営、又は協力・支援等
【就労型（直接関与）】
　地元の企業・事業所での労働（地域における副業）、農林漁業への就業、農林漁業者へのサポート（援農等）
【就労型（テレワーク等）】
　本業として普段行っている業務や仕事（テレワークなど）、訪問地域外の業務や仕事（テレワーク/副業など）
【参加・交流型】
　地域の人との交流やイベント、体験プログラム等に参加
【趣味・消費型】
　地縁・血縁先以外で、地域での飲食や趣味活動等を実施（他の活動をしていない）
【関係人口（非訪問系）】
　ふるさと納税、クラウドファンディング、地場産品等購入、特定の地域の仕事の請け負い、情報発信、オンライン活用

三大都市圏居住者の日常生活圏、通勤圏以外の地域との関わりの状況



※　四捨五入の関係上、合計が一致しない場合がある

（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和2年9月実施）、三大都市圏居住者（人数ベース）

2. 関係人口（訪問系）の対流の状況

ー 関係人口（訪問系）の流動（人数ベース） ー

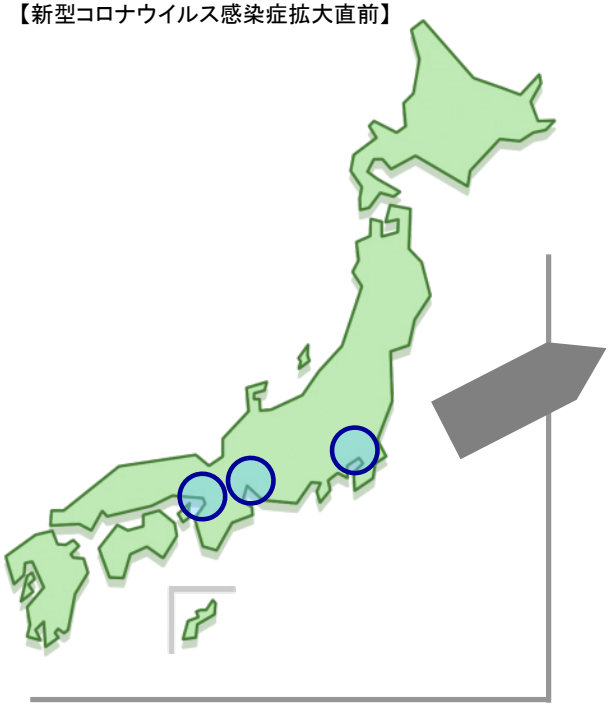
国土交通省

全国の関係人口（訪問系）は約1,827万人と推計

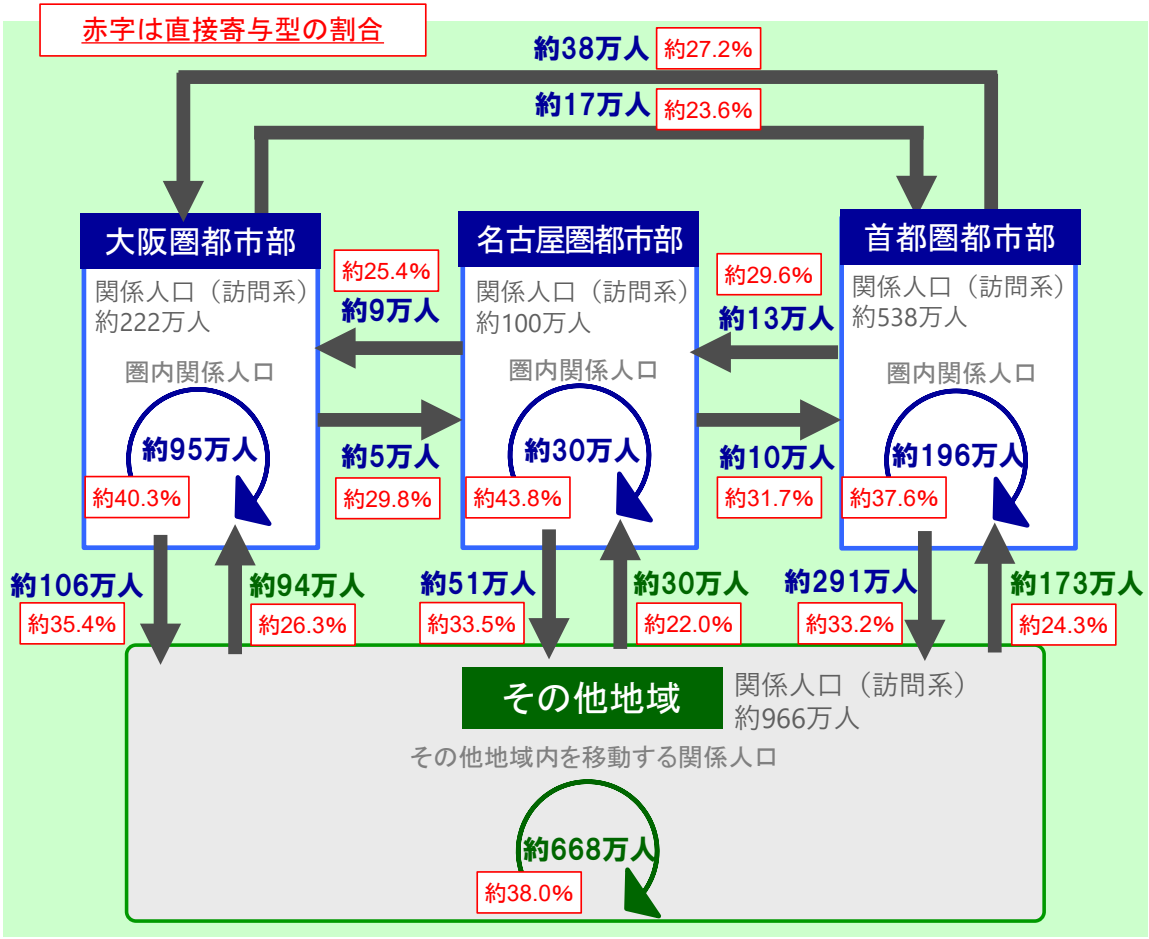
○ 地方部（その他地域）から三大都市圏への流動よりも、三大都市圏から地方部（その他地域）への流動の方が大きい。

○ 同一圏内に関わる関係人口及び三大都市圏から地方部（その他地域）に関わる関係人口については、直接寄与型の割合が大きくなっている。

【新型コロナウイルス感染症拡大直前】



三大都市圏とその他地域間の関係人口（訪問系）の流動



※ 四捨五入の関係上、合計が一致しない場合がある

3. 関係人口（訪問系）の対流の状況

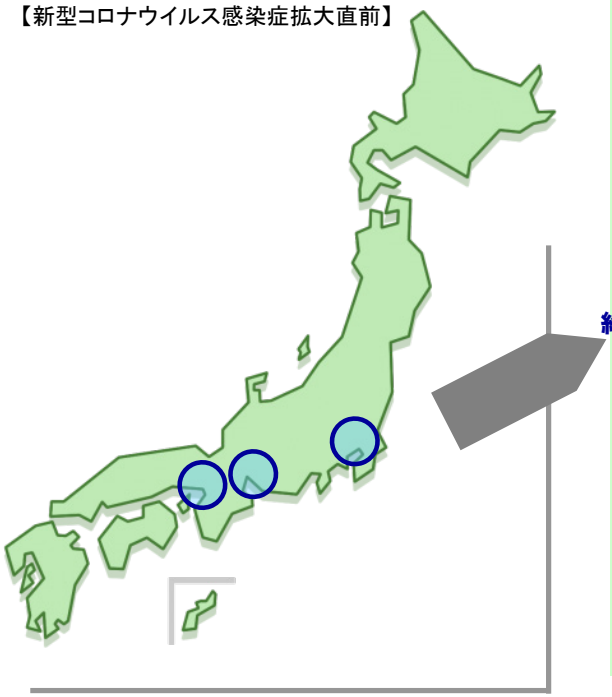
国土交通省

ー 関係人口（訪問系）の流動（訪問地域数ベース） ー

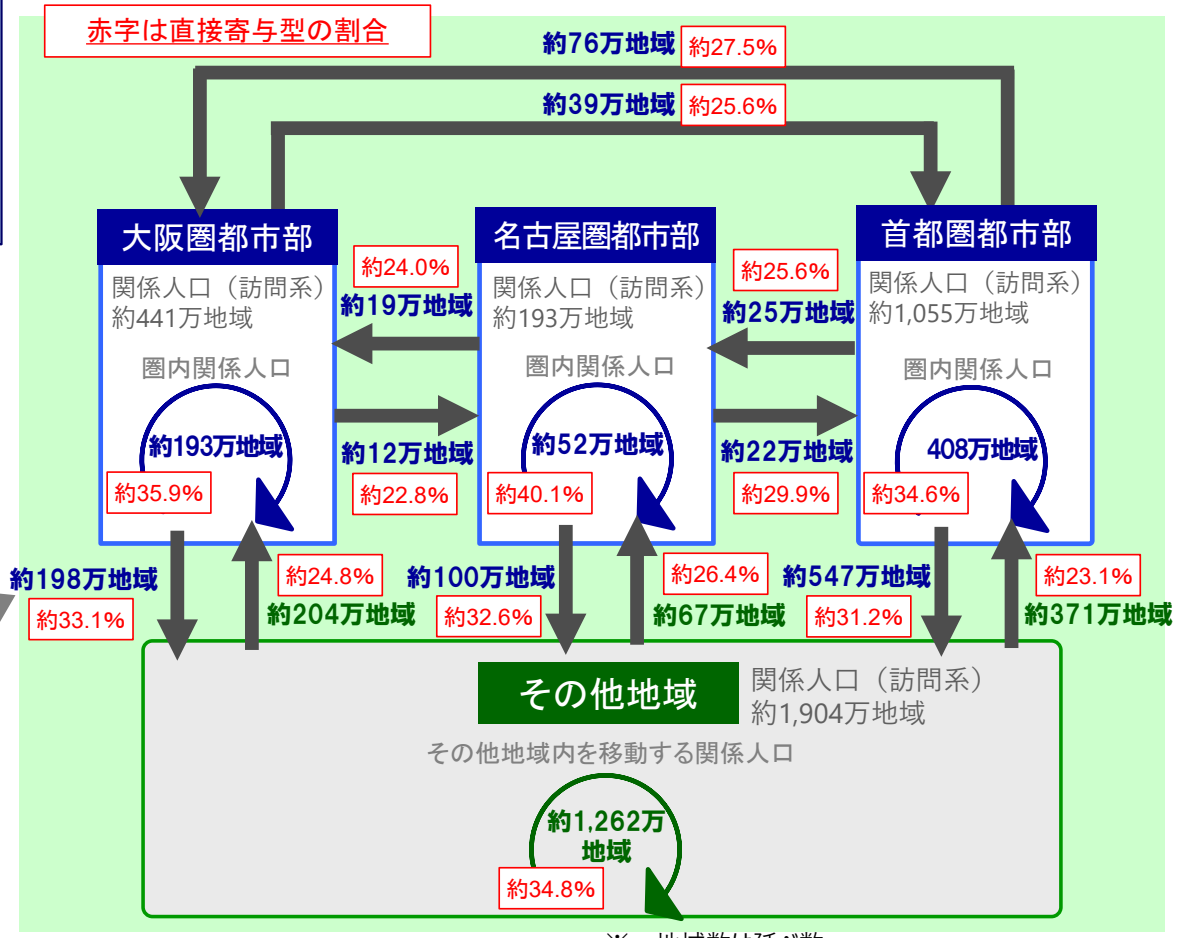
※ 人数ベースと同様の傾向

○ 地方部（その他地域）から三大都市圏への流動よりも、三大都市圏から地方部（その他地域）への流動の方が大きい。
○ 同一圏内に関わる関係人口及び三大都市圏から地方部（その他地域）に関わる関係人口については、直接寄与型の割合が大きくなっている。

【新型コロナウイルス感染症拡大直前】



三大都市圏とその他地域間の関係人口（訪問系）の流動



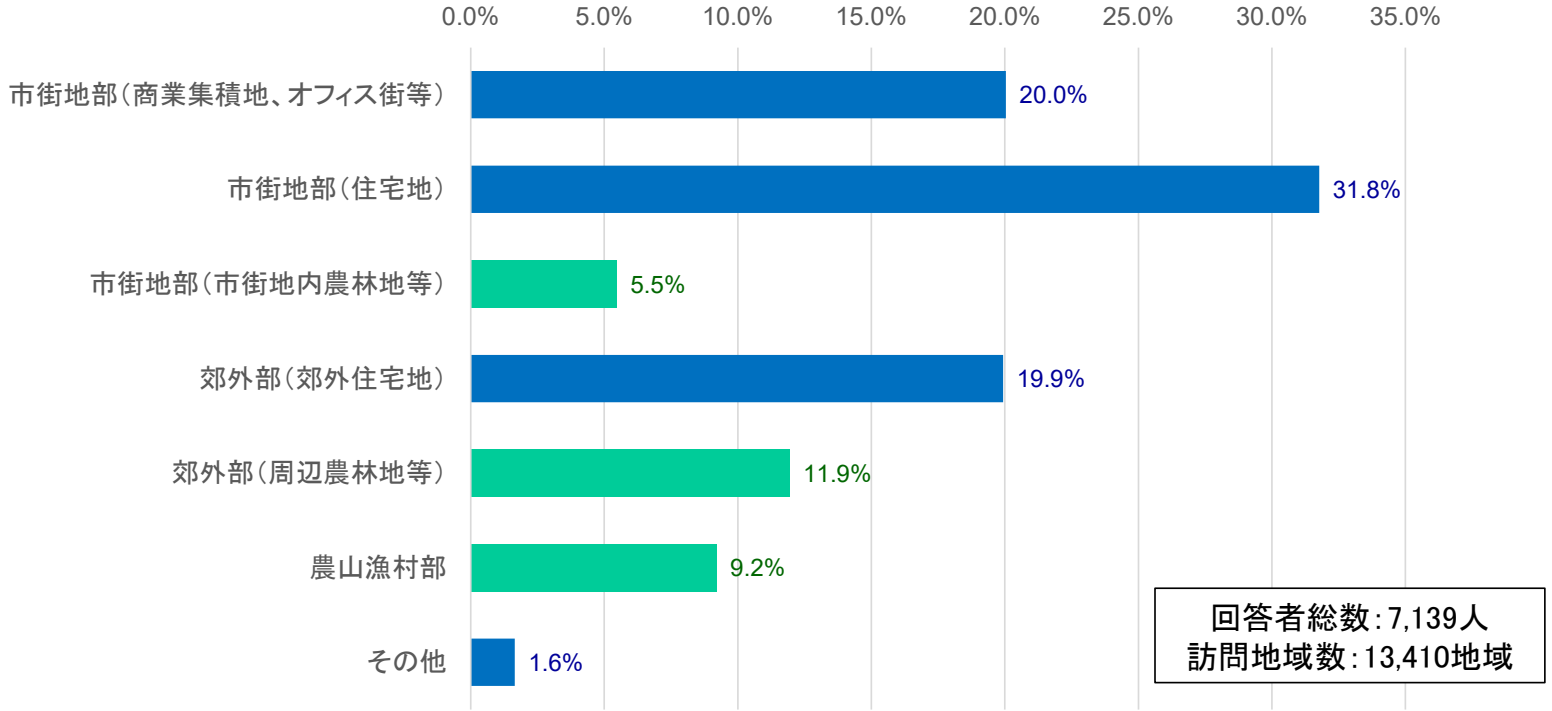
※ 地域数は延べ数
※ 四捨五入の関係上、合計が一致しない場合がある

（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和２年９月実施）、訪問地域数ベース

○　三大都市圏に居住し、その他地域に関わる関係人口（訪問系）は、約７割が農林地がメインではない市街地部等を訪問しており、地方部への関わりであっても市街地部への関わりの割合が大きいことが確認できる。
○　一方で、約２割半が農林地がある地域及び農山漁村部を訪問している。

■　三大都市圏に居住し、その他地域に関わる関係人口（訪問系）

訪問先（地域区分）

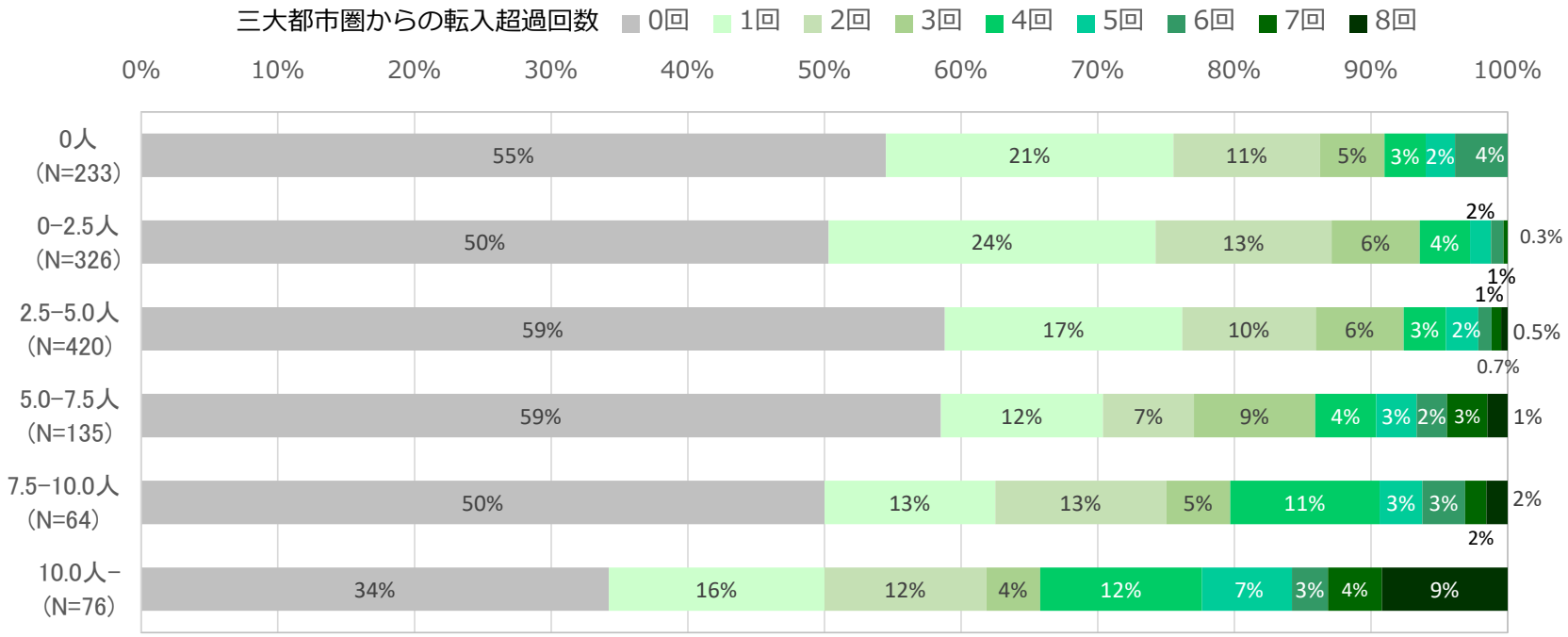


（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和2年9月実施）、訪問地域数ベース

○　人口１万人当たりの関係人口（訪問系）の人数が多い市区町村は、三大都市圏※からの転入超過回数が多いことを確認。※関係人口の実態把握の三大都市圏の定義とは異なる

○　関係人口（訪問系）の来訪が多い地域において、三大都市圏からの移住者が多いことについては、そのような地域では、外部の人を受け入れる環境が整っているからであると考えられる。

人口1万人当たりの関係人口（訪問系）の人数と三大都市圏からの転入超過回数



1万人当たりの関係人口（訪問系）の人数（実測値）

注１：三大都市圏内の市区町村は含まない
注２：国勢調査（H27）人口を活用して、1万人あたり関係人口（訪問系）を集計

（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和2年9月実施）、訪問地域数ベース
総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告（H24～H31）」

人口1万人当たりの関係人口（訪問系）の人数及び三大都市圏からの転入超過回数が多い市町村

転入超過回数

一万人当たりの関係人口（訪問系）の人数（実測値）

	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回
5.0-7.5	岩手県 九戸村 宮城県 村田町 宮城県 山元町 石川県 羽咋市 山梨県 韮崎市 長野県 伊那市 長野県 大町市 長野県 立科町 長野県 阿南町 長野県 泰阜村 滋賀県 近江八幡市 島根県 奥出雲町 岡山県 真庭市 高知県 奈半利町 大分県 日田市 宮崎県 高千穂町	岩手県 釜石市 岩手県 西和賀町 福島県 南相馬市 長野県 木島平村 鳥取県 岩美町 鳥取県 三朝町 岡山県 奈義町 熊本県 高森町 大分県 玖珠町	北海道 鹿部町 北海道 せたな町 青森県 田舎館村 岩手県 遠野市 岩手県 葛巻町 岩手県 田野畑村 山形県 朝日町 福島県 国見町 広島県 北広島町 香川県 土庄町 熊本県 山都町 大分県 九重町	北海道 長万部町 石川県 輪島市 岡山県 吉備中央町 大分県 国東市 鹿児島県 宇検村 沖縄県 宜野座村	北海道 東川町 滋賀県 大津市 島根県 邑南町 鹿児島県 和泊町	北海道 倶知安町 静岡県 伊東市 大分県 竹田市	山口県 周防大島町 鹿児島県 屋久島町 沖縄県 本部町 沖縄県 久米島町	長野県 原村 鹿児島県 与論町
7.5-10.0	北海道 新冠町 青森県 東通村 岩手県 宮古市 宮城県 仙台市 石川県 能登町 福井県 高浜町 長野県 木曽町 滋賀県 竜王町	北海道 夕張市 宮城県 丸森町 宮城県 南三陸町 福島県 磐梯町 群馬県 川場村 静岡県 小山町 鳥取県 智頭町 沖縄県 那覇市	石川県 珠洲市 静岡県 河津町 鳥取県 若桜町	岩手県 陸前高田市 群馬県 嬬恋村 長野県 茅野市 長野県 富士見町 長野県 山ノ内町 静岡県 松崎町 島根県 西ノ島町	宮城県 女川町 長野県 信濃町	静岡県 東伊豆町 香川県 琴平町	沖縄県 宮古島市	滋賀県 草津市
10.0以上	北海道 留寿都村 岩手県 大船渡市 宮城県 七ヶ宿町 山形県 寒河江市 福島県 西会津町 福島県 猪苗代町 群馬県 片品村 福井県 美浜町 山梨県 身延町 長野県 小川村 和歌山県 高野町 和歌山県 白浜町	福島県 北塩原村 茨城県 大洗町 群馬県 草津町 富山県 舟橋村 山梨県 小菅村 長野県 阿智村 長野県 平谷村 岡山県 西粟倉村 沖縄県 座間味村	北海道 占冠村 群馬県 長野原町 長野県 南牧村	北海道 ニセコ町 長野県 長和町 長野県 野沢温泉村 静岡県 南伊豆町 香川県 小豆島町 熊本県 阿蘇市 熊本県 南阿蘇村 沖縄県 国頭村 沖縄県 与那国町	山梨県 早川町 山梨県 山中湖村 長野県 小谷村 島根県 海士町 鹿児島県 南種子町	長野県 売木村 沖縄県 石垣市	北海道 上士幌町 栃木県 那須町 新潟県 湯沢町	山梨県 北杜市 長野県 軽井沢町 長野県 白馬村 静岡県 熱海市 沖縄県 今帰仁村 沖縄県 恩納村 沖縄県 竹富町

注１：三大都市圏内の市区町村は含まない
注２：国勢調査（H27）人口を活用して、1万人あたり関係人口（訪問系）を集計

（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和2年9月実施）、訪問地域数ベース
総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告（H24～H31）」

Ⅱ．農山漁村集落を訪問する関係人口
【三大都市圏に居住し、その他地域を訪問】

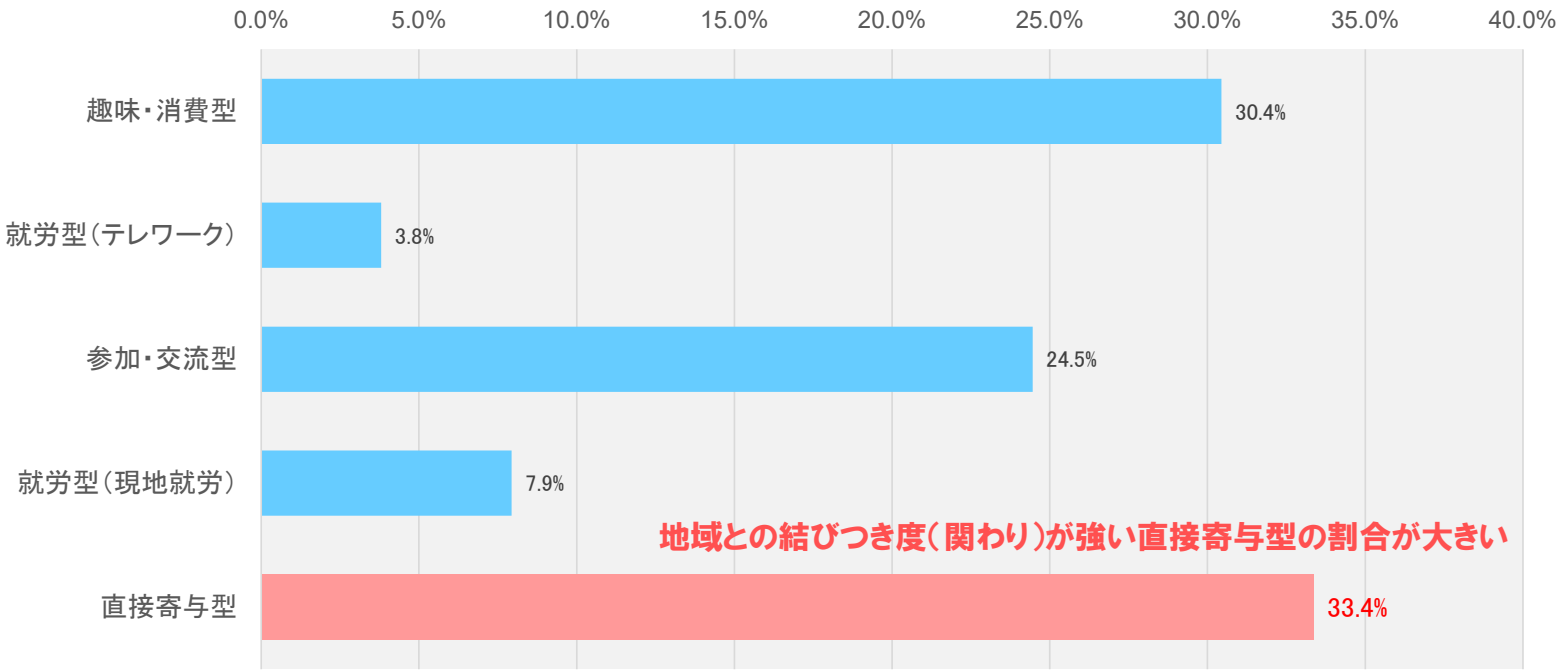
大分類】

○　三大都市圏に居住し、その他地域（地方部）の農山漁村に関わる関係人口については、直接寄与型の割合が約33%となっており、地域との結びつき度（関わり）が強いことを確認できる。

■　三大都市圏に居住し、その他地域の農山漁村に関わる関係人口（訪問系）

農山漁村に関わる関係人口の大分類

回答者総数：709人
訪問地域数：1,235地域



（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和2年9月実施）、訪問地域数ベース

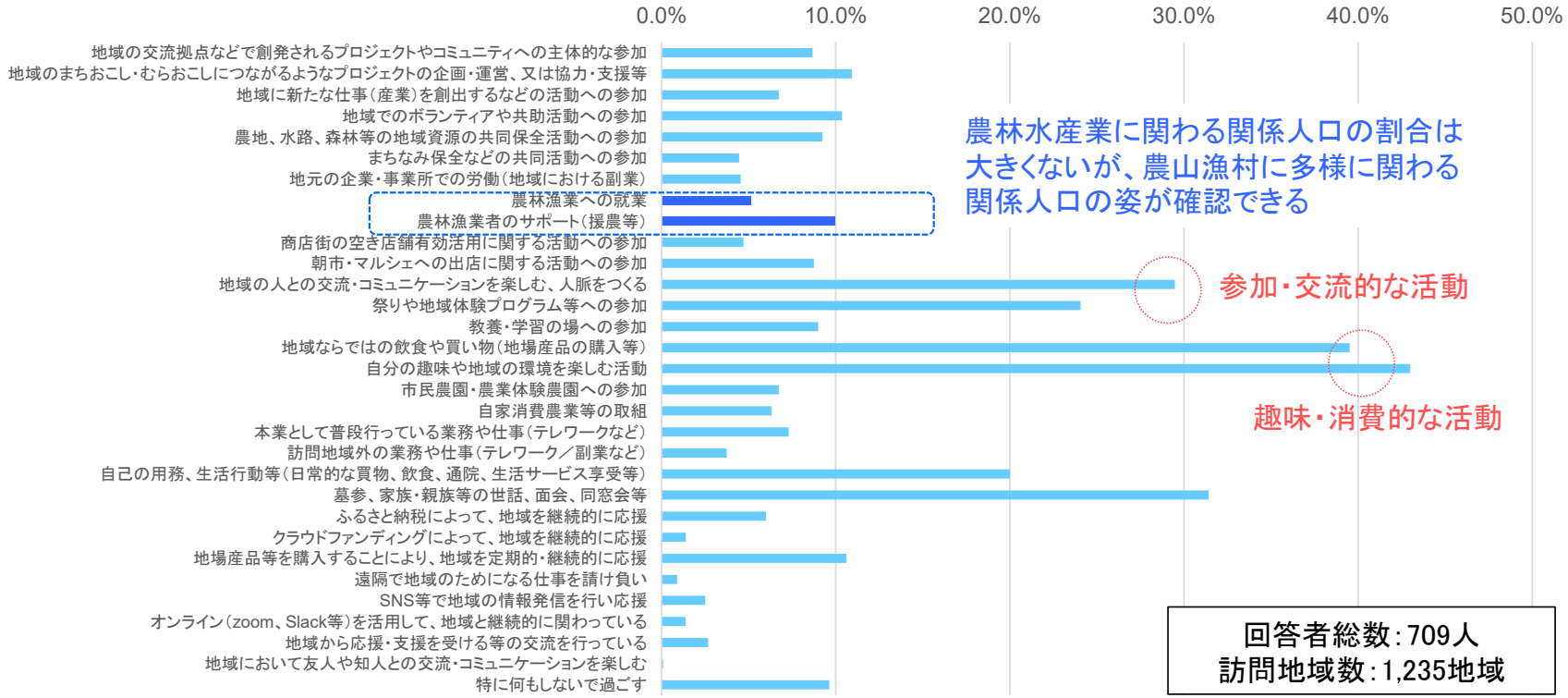
8. 三大都市圏に居住する関係人口の農山漁村への多様な関わり【過ごし方】

国土交通省

○　三大都市圏に居住し、その他地域（地方部）の農山漁村に関わる関係人口については、趣味・消費的及び参加・交流的な活動等を行っている人の割合が大きく、約３割を占める直接寄与型であっても、それらを兼ねた活動を行っていると推測できる。

■　三大都市圏に居住し、その他地域の農山漁村に関わる関係人口（訪問系）

農山漁村に関わる関係人口の過ごし方



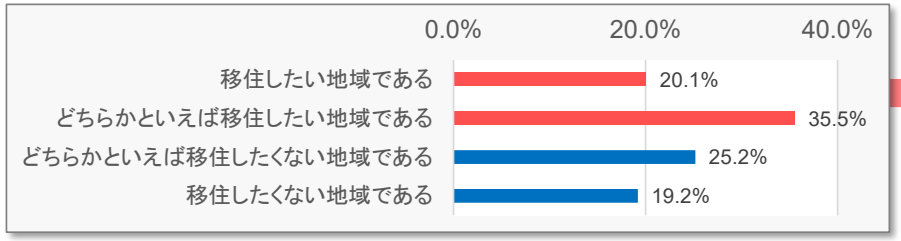
10

○　三大都市圏に居住し、その他地域の農山漁村に関わる関係人口（訪問系）の約55%は、関わり先を移住先として魅力的に感じていることを確認でき、自然環境や住環境を理由としている人の割合が大きい。

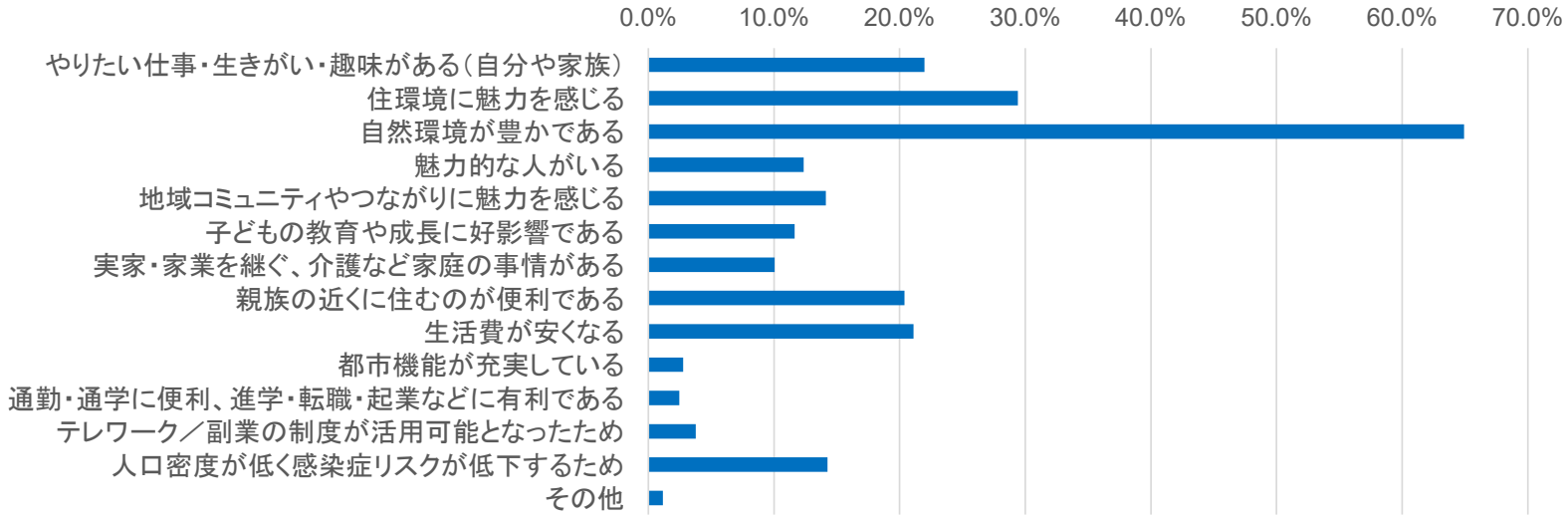
■　三大都市圏に居住し、その他地域の農山漁村に関わる関係人口（訪問系）

農山漁村に関わる関係人口の関わり先への移住希望

回答者総数：709人
訪問地域数：1,235地域



「移住したい地域」又は「どちらかといえば移住したい地域」と回答した理由



（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和2年9月実施）、訪問地域数ベース

Ⅲ．農業系関係人口の動向
【首都圏都市部に居住し、その他地域を訪問】

10. 分析の目的とサンプル抽出対象範囲

国土交通省

■　首都圏都市部在住者の地方部における農林漁業への関わりを明らかにする

【理由】
発地と着地を固定することにより、より実態に即した傾向を分析する

サンプル抽出範囲

‖

382人
【拡大推計で約24万人】

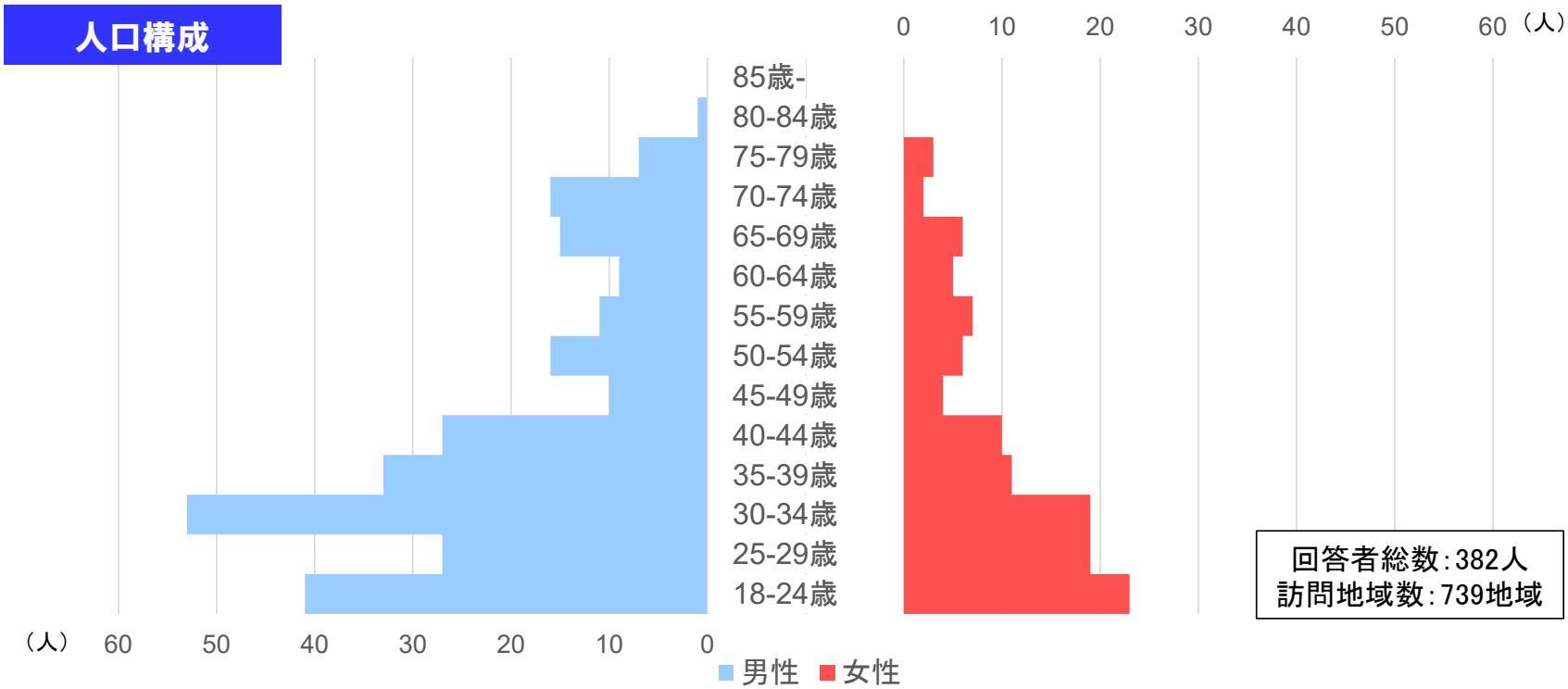
※　首都圏都市部に居住し、（三大都市圏を除く）その他地域を訪問している関係人口の約８％

．農業系関係人口の人口構成

国土交通省

○　首都圏都市部に居住し、三大都市圏を除くその他地域において、農林水産業に関わる関係人口（訪問系）（以下、農業系関係人口（首都圏都市部居住）という）の人口構成は、男性及び若年層の割合が大きくなっている。
○　また、男性では、65歳以上の人の割合が若干増加する傾向にある。

■　首都圏都市部に居住し、その他地域において農林水産業に関わる関係人口（訪問系）



（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和2年9月実施）、人数ベース

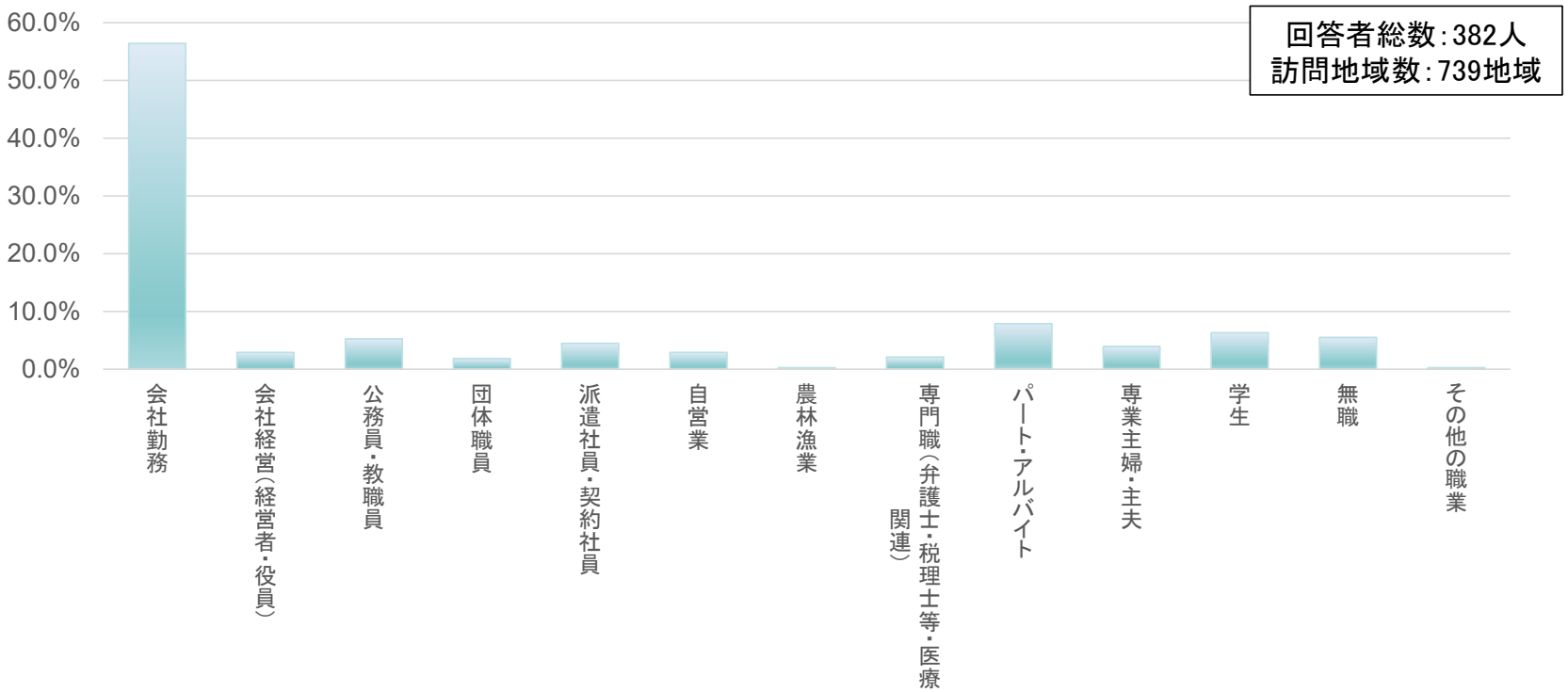
．農業系関係人口の職業

国土交通省

○　農業系関係人口（首都圏都市部居住）については、約６割弱が会社勤務となっている。
○　その他については、パート・アルバイトが若干多いものの、少数でバラついている。

■　首都圏都市部に居住し、その他地域において農林水産業に関わる関係人口（訪問系）

職業



（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和2年9月実施）、人数ベース

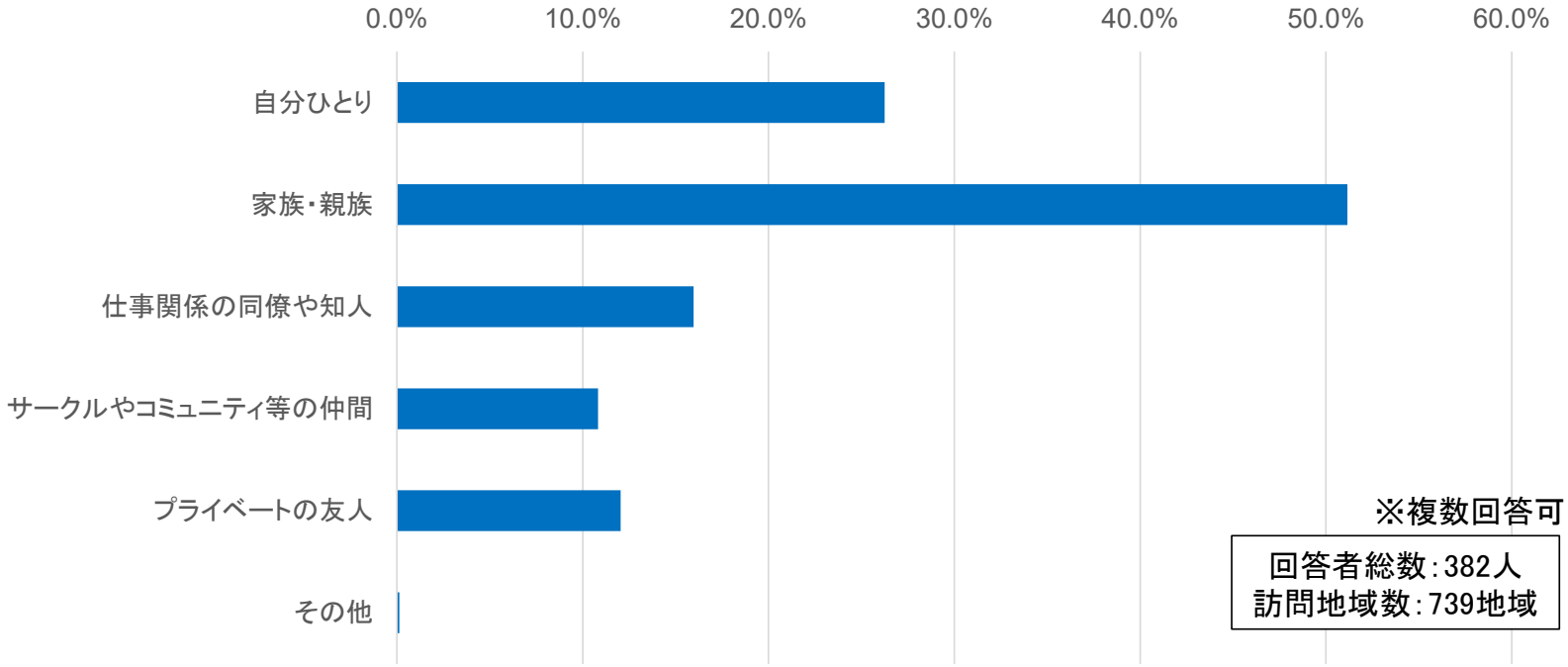
．農業系関係人口の地域を訪問する際の同行者

国土交通省

○　農業系関係人口（首都圏都市部居住）が地域を訪問する際の同行者は、家族・親族とする割合が過半を超えているとともに、仕事関係の同僚や友人等とする場合も一定数あり、自分一人と回答した人の割合は大きくない。
○　農業系関係人口（首都圏都市部居住）は、人が地域へ訪問するという観点において、大きなポテンシャルを持っている。

■　首都圏都市部に居住し、その他地域において農林水産業に関わる関係人口（訪問系）

地域への同行者



※複数回答可

回答者総数：382人
訪問地域数：739地域

（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和2年9月実施）、訪問地域数ベース

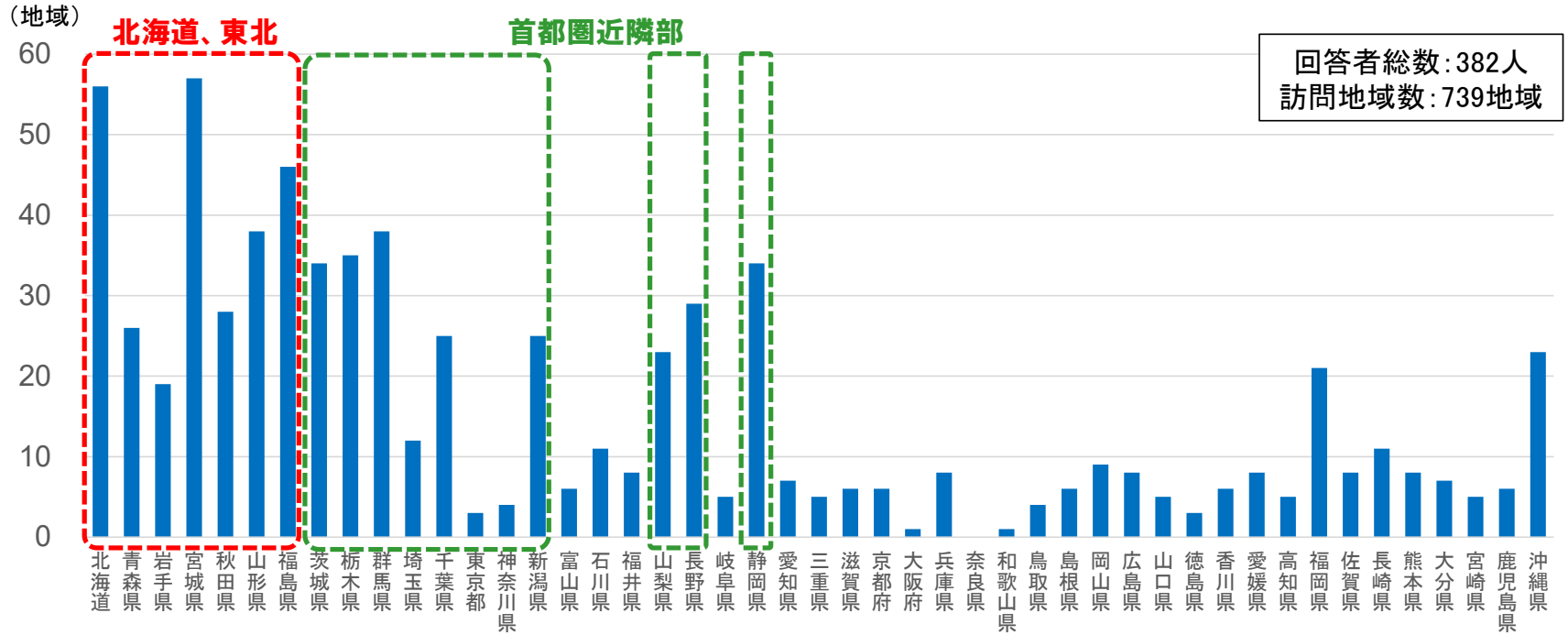
．農業系関係人口（首都圏都市部居住）の訪問先

国土交通省

○　農業系関係人口（首都圏都市部居住）の訪問先は、首都圏近隣地域に加え、北海道及び東北が大きな割合を占めている。
○　一方で、西日本に対しても一定数の訪問が確認できる。

■　首都圏都市部に居住し、その他地域において農林水産業に関わる関係人口（訪問系）

訪問先



（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和2年9月実施）、訪問地域数ベース

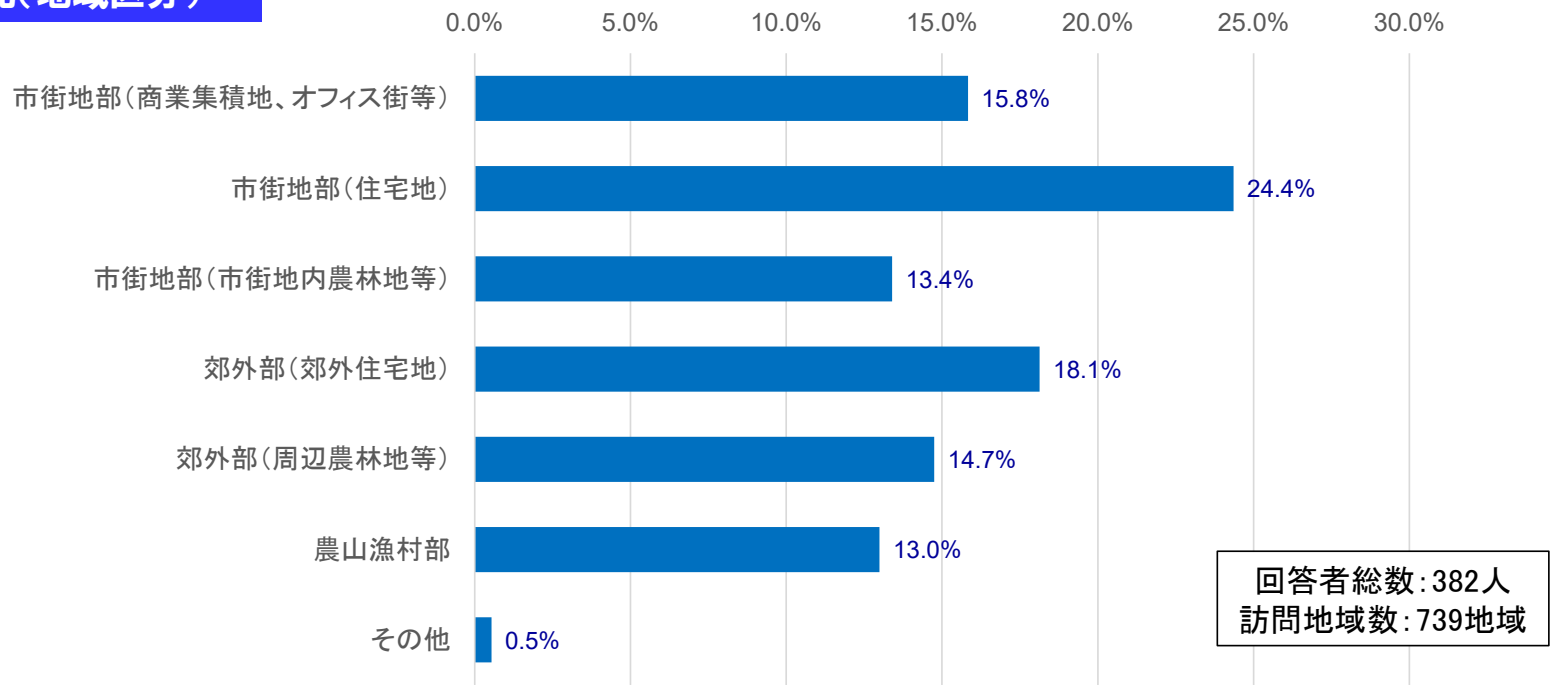
．農業系関係人口（首都圏都市部居住）の訪問先（地域区分）

国土交通省

○　農業系関係人口（首都圏都市部居住）が訪問している地域区分は、市街地（住宅地）が約25%となり、一番大きな割合を占めている。
○　一方で、農山漁村部への訪問は、約13%程度である。
○　農業系関係人口（首都圏都市部居住）については、純粋な農山漁村集落部への関わりよりも、市街地及び住宅地内部や郊外部への関わりが多い状況である。

■　首都圏都市部に居住し、その他地域において農林水産業に関わる関係人口（訪問系）

訪問先（地域区分）



回答者総数：382人
訪問地域数：739地域

（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和2年9月実施）、訪問地域数ベース

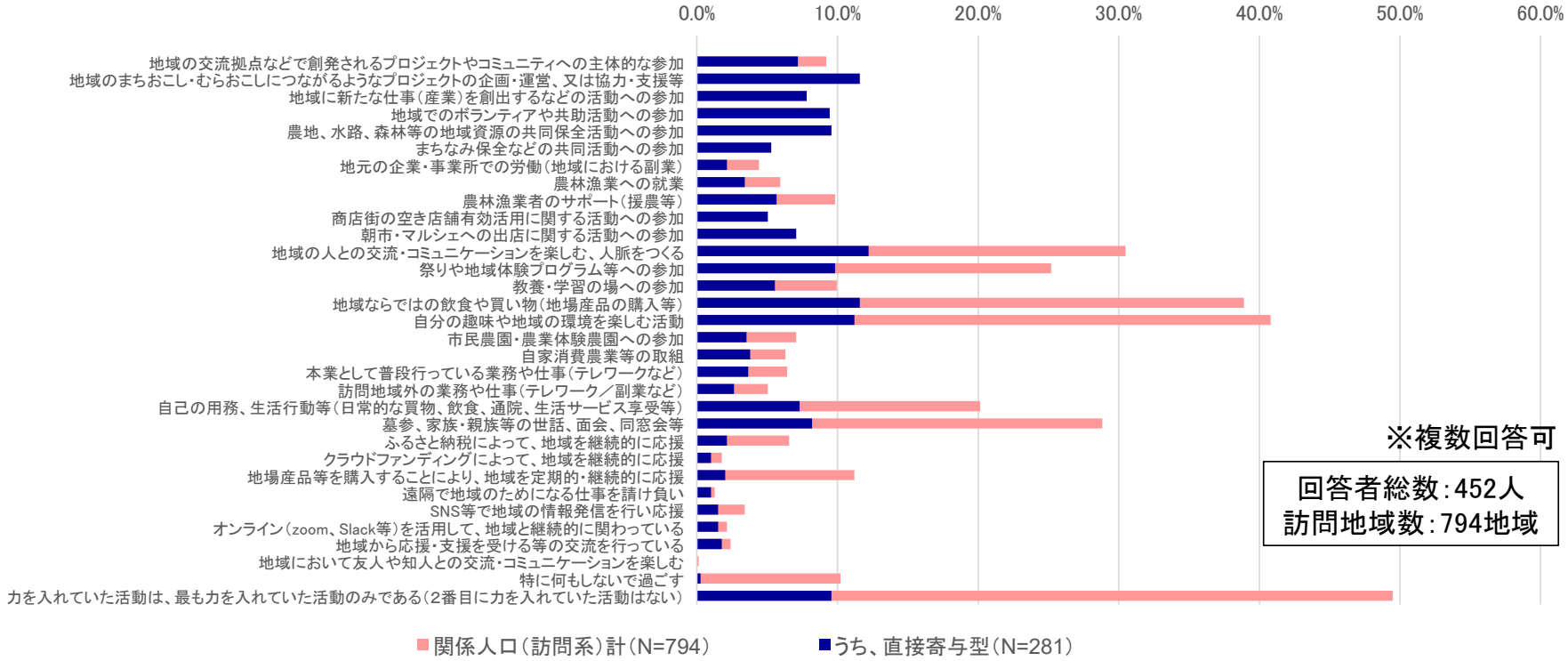
．首都圏都市部に居住し、農山漁村を訪問する関係人口の過ごし方

国土交通省

○　首都圏都市部に居住し、農山漁村を訪問している関係人口の地域における過ごし方については、地場産品の購入や自分の趣味や地域の環境を楽しむ活動等、趣味・消費活動を行っている割合が大きい。
○　また、地域の人とのコミュニケーション、人脈づくり、祭りや地域体験プログラム等への参加など、参加・交流活動を行っている人の割合も大きい。
○　農業へ関わっている人の割合は大きくない。

地域での過ごし方

■　首都圏都市部に居住し、農山漁村に関わる関係人口（訪問系）



※複数回答可

回答者総数：452人
訪問地域数：794地域

（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和2年9月実施）、訪問地域数ベース

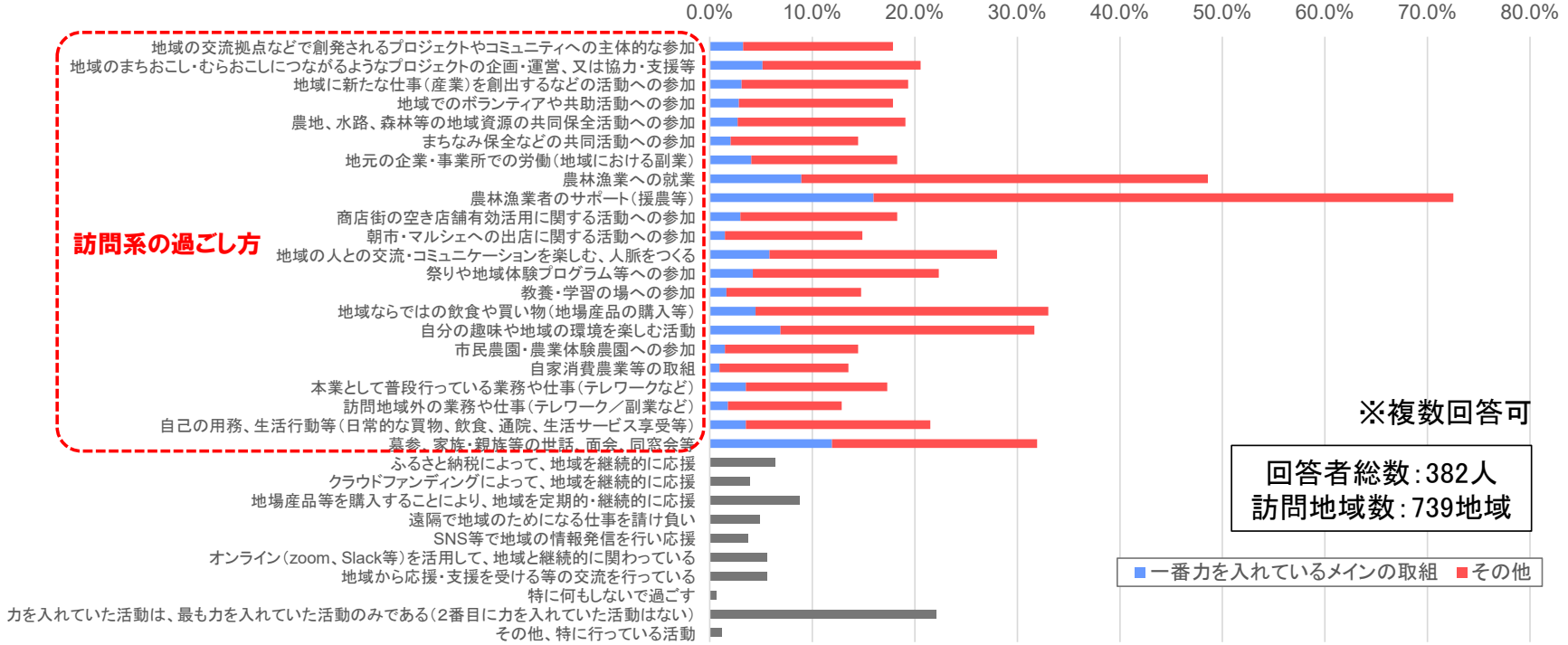
．農業系関係人口（首都圏都市部居住）の地域での過ごし方

国土交通省

○　農業系関係人口（首都圏都市部居住）の地域での過ごし方は、“農林漁業への就業”及び“農林漁業者のサポート（援農等）”を除くと、趣味・消費的な取組や”地域の人との交流・コミュニケーションを楽しむ、人脈をつくる“が比較的多いものの、その他の訪問系の過ごし方はほとんど同じ割合となっている。
○　また、“農林漁業への就業”及び“農林漁業者のサポート（援農等）”を一番力を入れているメインの取組としている人は約３割程度である。
○　農林漁業への関わりは、他の取組と複合的に行われていると推測される。

地域での過ごし方

■　首都圏都市部に居住し、その他地域において農林水産業に関わる関係人口（訪問系）



（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和2年9月実施）、訪問地域数ベース

．農業系関係人口の訪問頻度及び滞在期間

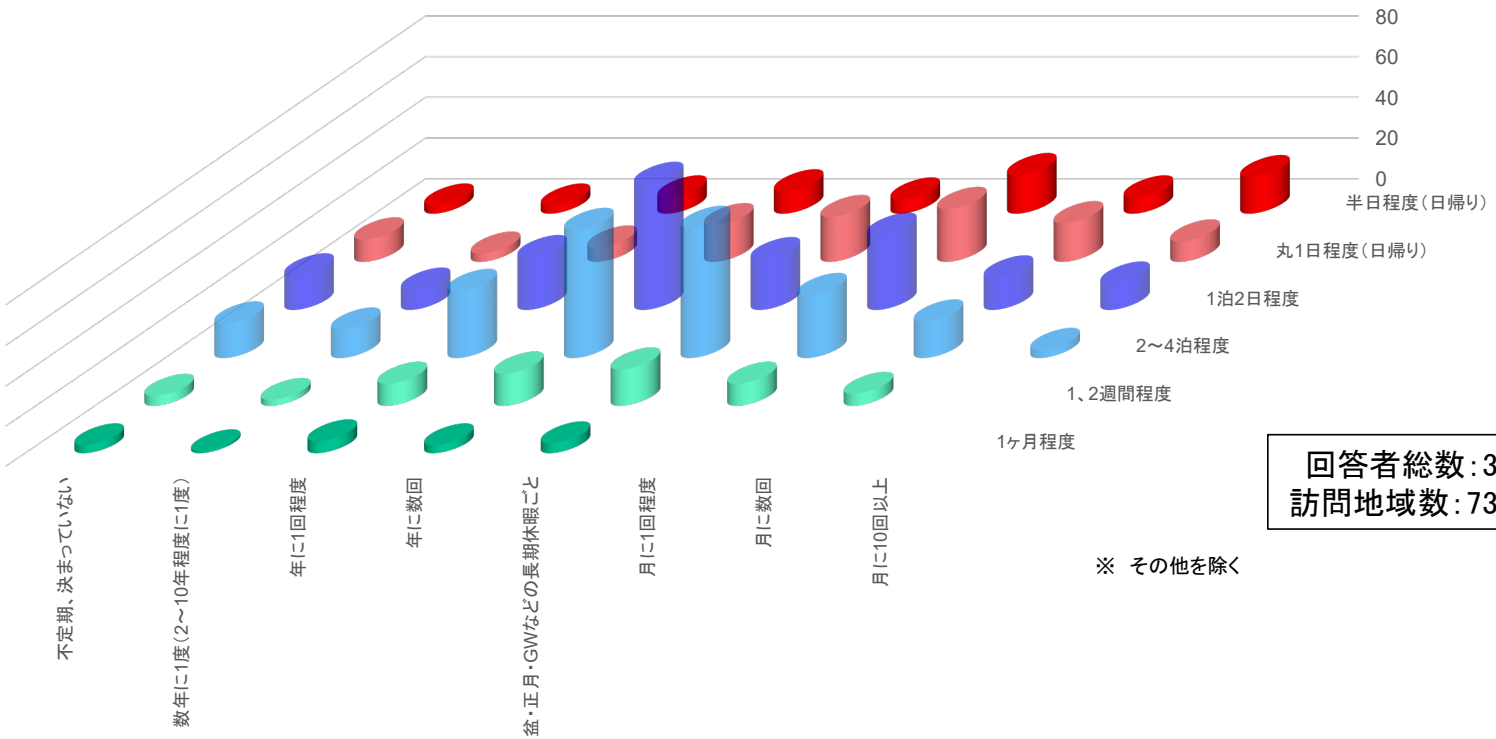
国土交通省

○　訪問頻度については、約３割の人が月に１回以上訪問しており、比較的高頻度で地域と関わっている。
○　滞在期間については、約7割強の人が宿泊を伴う滞在をしている。
○　全体的には、盆、正月、GW等をはじめとした年に数回の訪問で、１～４泊程度滞在する人の割合が大きい。

■　首都圏都市部に居住し、その他地域において農林水産業に関わる関係人口（訪問系）

訪問頻度×滞在期間

（実測値：人）



回答者総数：382人
訪問地域数：739地域

※　その他を除く

（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和2年9月実施）、訪問地域数ベース

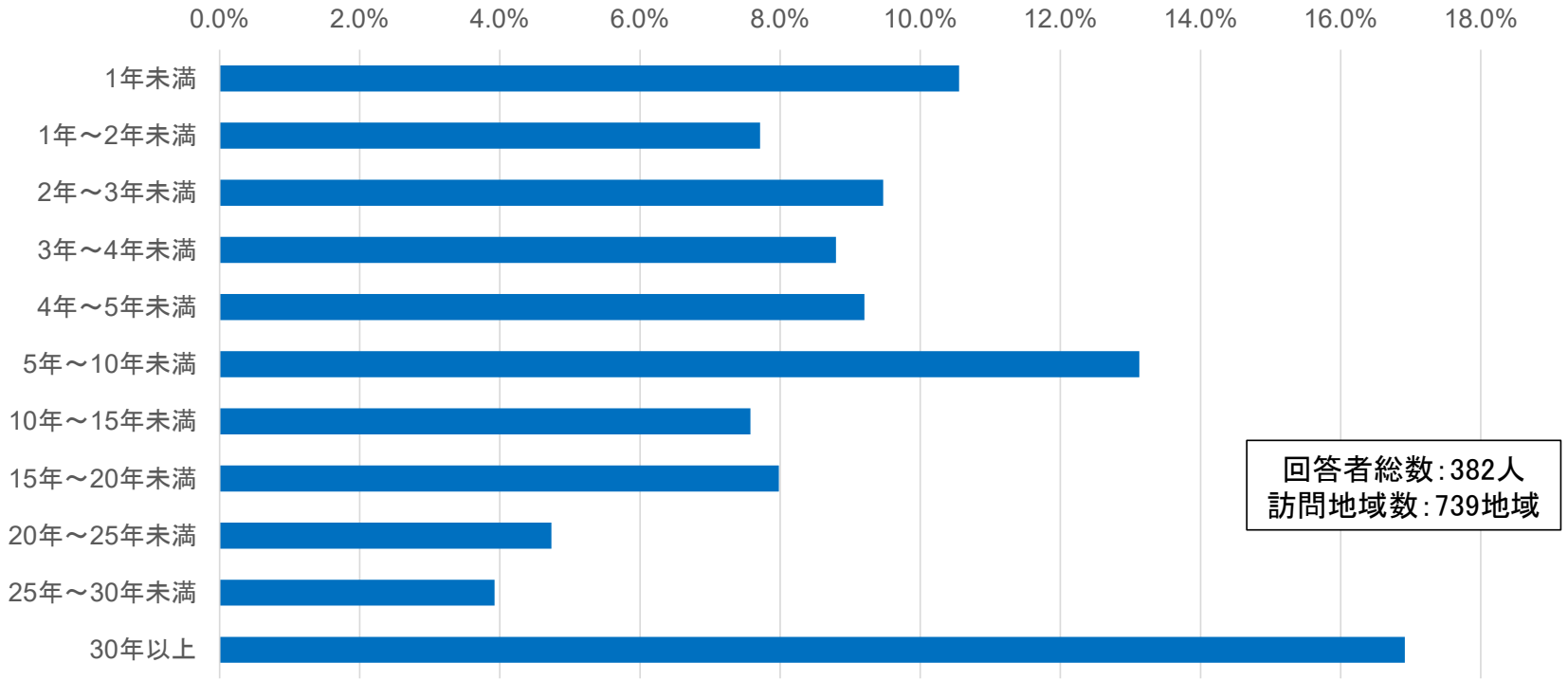
．農業系関係人口の地域との関わりの年数

国土交通省

○　地域との関わりの年数は、30年以上が一番大きな割合を占めているが、一方で、10年未満の人が約６割を占めており、関わりの年数が比較的浅い人の割合が高くなっている。

■　首都圏都市部に居住し、その他地域において農林水産業に関わる関係人口（訪問系）

地域との関わりの年数



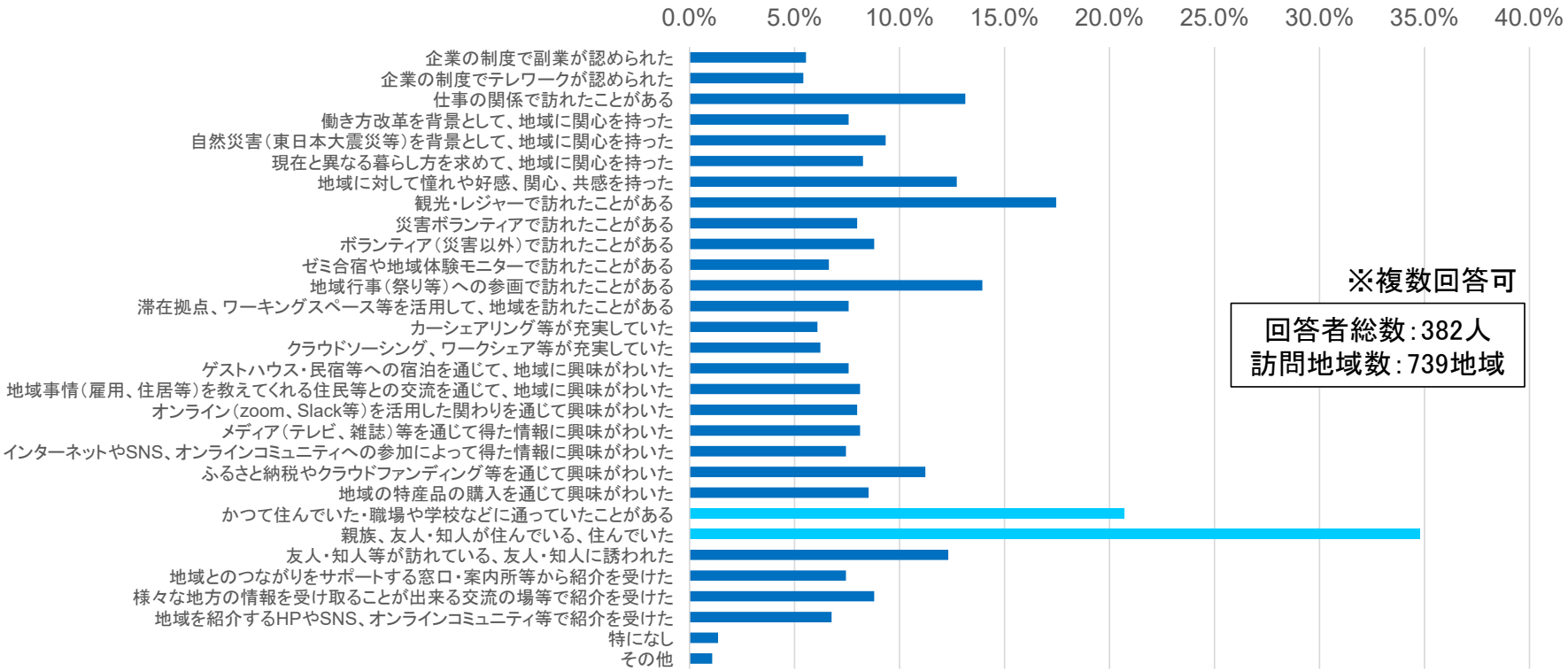
（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和2年9月実施）、訪問地域数ベース

．農業系関係人口の地域を訪れることとなったきっかけ

国土交通省

○　“かつて住んでいた、職場や学校などに通っていたことがある”、“親族、友人・知人が住んでいる”等の地縁・血縁的なきっかけで訪問している人が大きな割合を占めている。
○　また、仕事の関係や観光・レジャー、地域行事への参画で訪れたことがある等の過去の訪問をきっかけとしている人の割合が比較的高い。

地域を訪れることとなったきっかけ　■　首都圏都市部に居住し、その他地域において農林水産業に関わる関係人口（訪問系）



（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和2年9月実施）、訪問地域数ベース

．農業系関係人口の地域との関わりを継続する意向

国土交通省

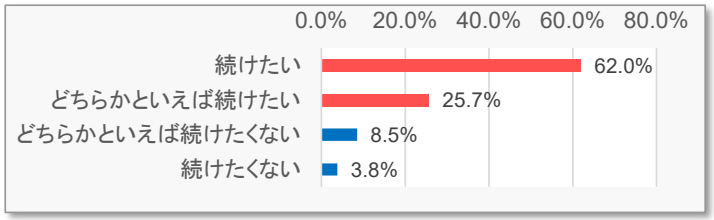
○　農業系関係人口（首都圏都市部居住）では、地域との関わりを継続したいという人が約９割を占めている。
○　その理由としては、“家族の事情や地域との関係性がある”という人が一定程度存在するものの、“楽しい、リフレッシュできる”等の自己実現的なものの割合が大きくなっている。

地域との関わり継続の意向

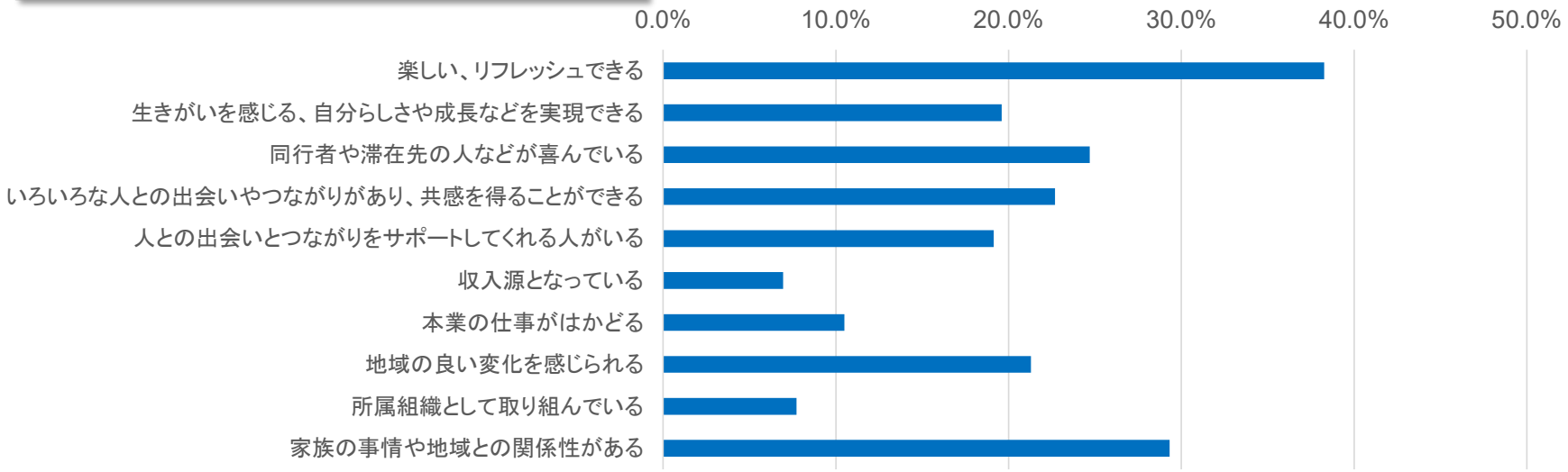
■ 首都圏都市部に居住し、その他地域において農林水産業に関わる関係人口（訪問系）

※複数回答可

回答者総数：382人
訪問地域数：739地域



「続けたい」又は「どちらかといえば続けたい」と回答した理由



（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和2年9月実施）、訪問地域数ベース

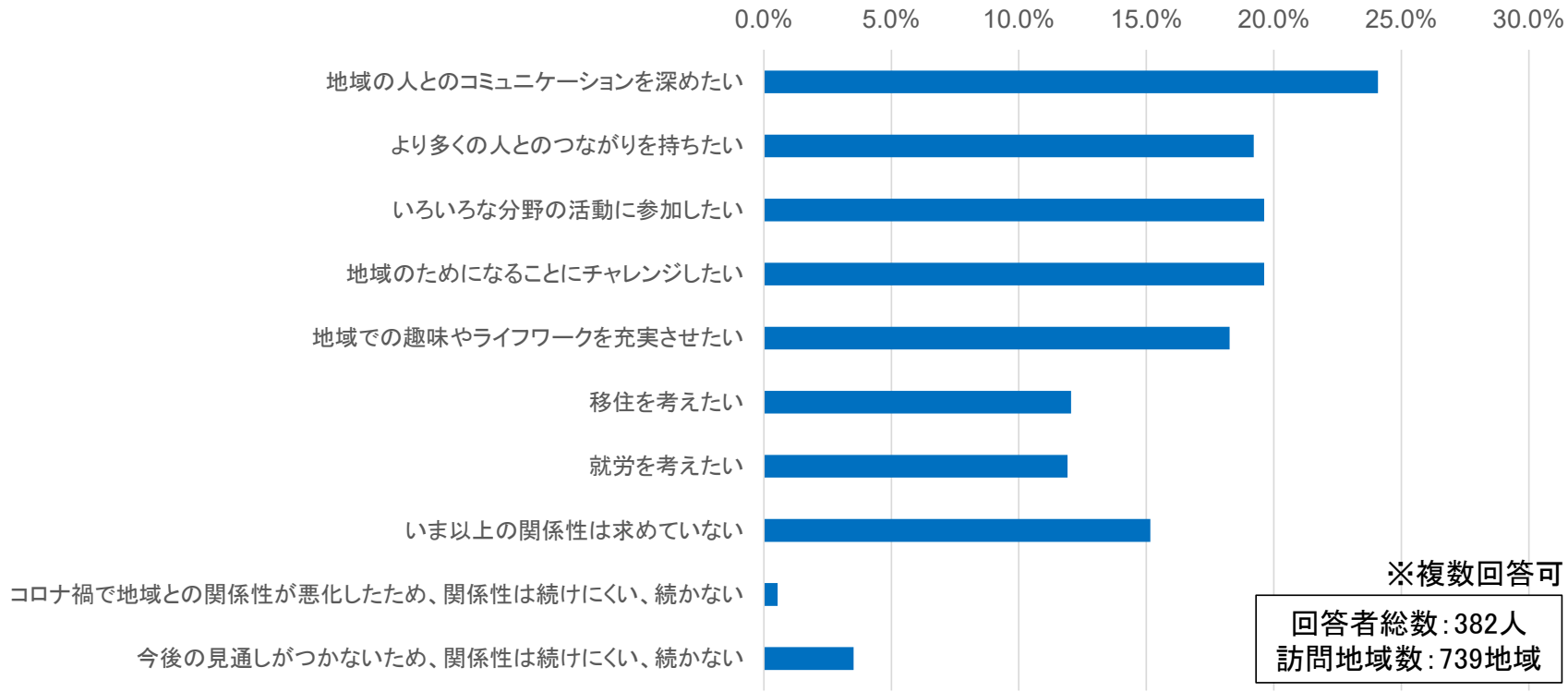
．農業系関係人口の今後の地域との関係性

国土交通省

○　“地域の人とのコミュニケーションを深めたい”と回答している人が約25%存在している等、地域とのつながりを深めたい人の割合が大きくなっている。
○　また、“移住を考えたい”、“就労を考えたい”という人が約１割程度存在している。

地域との関係の方向性

■　首都圏都市部に居住し、その他地域において農林水産業に関わる関係人口（訪問系）



※複数回答可

回答者総数：382人
訪問地域数：739地域

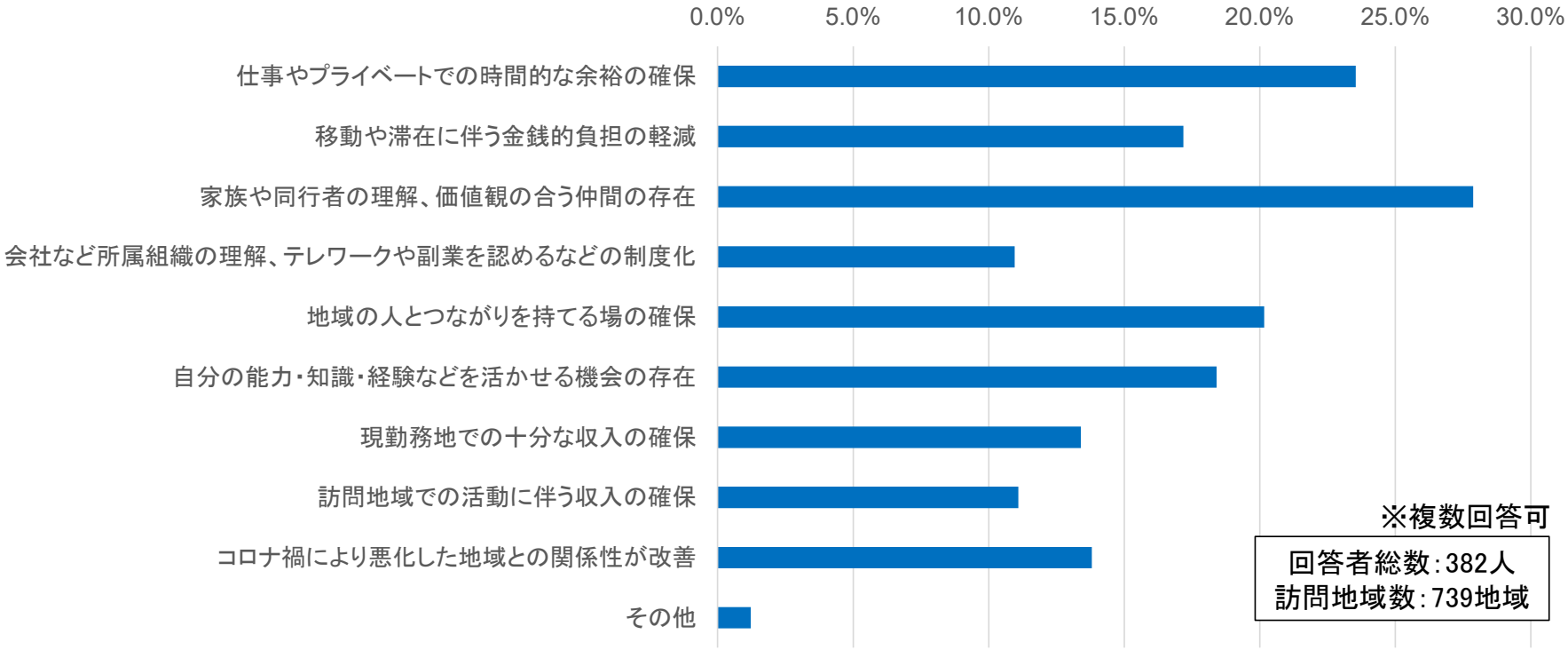
（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和2年9月実施）、訪問地域数ベース

．農業系関係人口の地域との関係性を深めるための改善点

国土交通省

○　農業系関係人口（首都圏都市部居住）が地域を訪問する際には、家族・親族を同行者としている場合が多いことから、“家族や同行者の理解、価値観の合う仲間の存在”が 大きな割合を占めていると推測される。
○　時間的な余裕の確保、経済負担の軽減等、普遍的な改善点が一定の割合を占める一方、“地域の人とのつながりを持てる場の確保”といった“つながりのサポート”への要望が確認される。

関係性を深めるための改善点　■ 首都圏都市部に居住し、その他地域において農林水産業に関わる関係人口（訪問系）



※複数回答可

回答者総数：382人
訪問地域数：739地域

（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和2年9月実施）、訪問地域数ベース

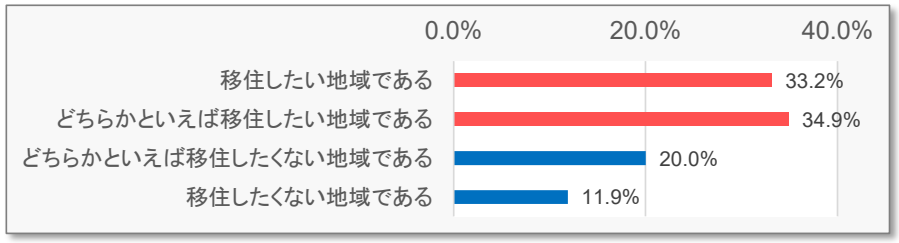
．農業系関係人口の関わり先への移住の希望

国土交通省

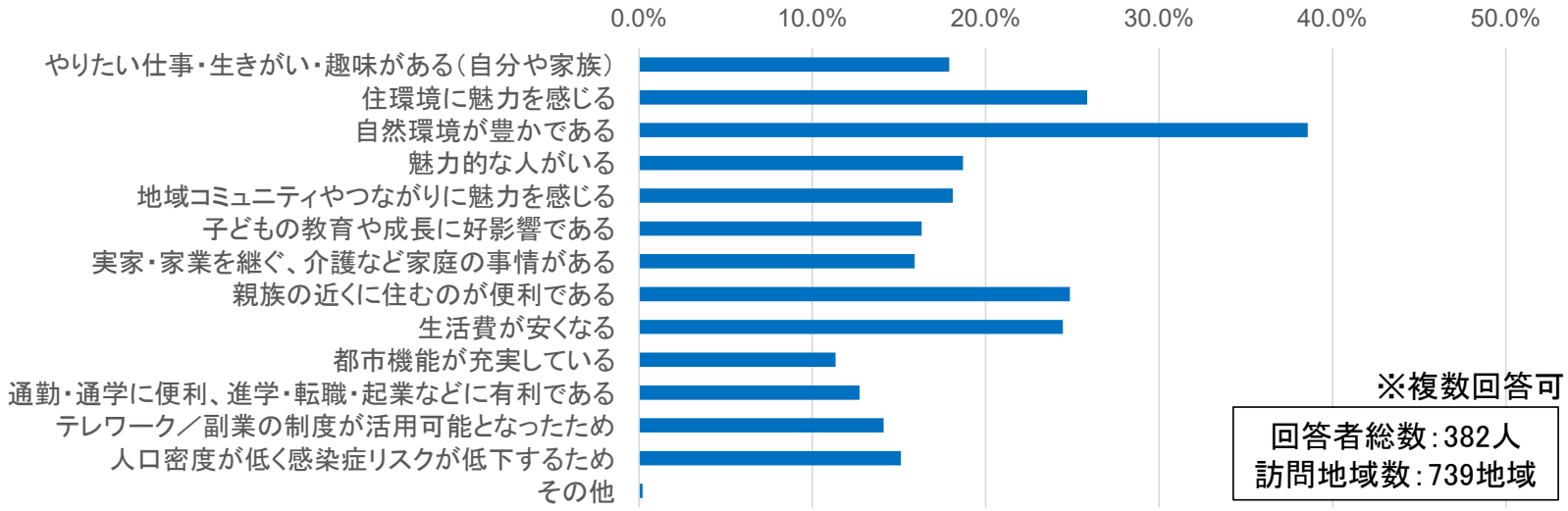
○　農業系関係人口（首都圏都市部居住）の約７割が関わりについて、移住先として魅力的であると感じている。
○　その理由は、自然環境、住環境等、環境面が高い割合を占めている。

関わり先への移住の希望

■ 首都圏都市部に居住し、その他地域において農林水産業に関わる関係人口（訪問系）



「移住したい地域」又は「どちらかといえば移住したい地域」と回答した理由



※複数回答可

回答者総数：382人
訪問地域数：739地域

（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和2年9月実施）、訪問地域数ベース

【参考資料】

参考1】インターネットアンケート調査のフロー

国土交通省

【1次調査】 回答者全員

基本属性、共通設問（テレワーク・副業、居住地での地域活動等）

【1次調査】
回答者全員

関係人口的な関わりを持っている地域があるか
（新型コロナウイルスの影響が現れる前）

関係人口である

関係人口でない

新型コロナウイルス影響前

【2次調査】（訪問系）
- 訪問先の地域名（3箇所まで）
- 訪問頻度、滞在時間、訪問手段
- 訪問したきっかけ
- 訪問先での過ごし方　など

【2次調査】（非訪問系）
- 関わりの内容
- 関わりのきっかけ　など

新型コロナウイルス影響後

現　在

【2次調査】
- 現時点における関係先との関わり方　など

【1次調査】
- 非訪問型の関わりの内容　など

【1次調査】
関係人口的な関わりの有無

関わり“あり”

関わり“なし”

将　来

【2次調査】
- 今後の意向（活動の方向性、将来的な希望等）　など

【1次調査】
- 地域との関わりの発展性　など

【1次調査】
- 関わり先を持つことの意向
- 関わりを持つことの課題　など

29

参考2】インターネットアンケート調査の概要

国土交通省

項目	今回調査
調査期間	・2020年9月29日(火)-10月6日(火)
調査名称	・「地域との関わりについてのアンケート」
調査方法	・インターネットWEBアンケート調査
対象地域	・18歳以上の三大都市圏の都市部居住者 ＋その他地域の居住者
目標 サンプル数	①三大都市圏の都市部 ・一次調査：75,000サンプル ・二次調査：20,000サンプル ②その他地域 ・一次調査：75,000サンプル ・二次調査：20,000サンプル ※一次調査は現在の居住地で割付、二次調査 はコロナ禍前（2月より前）の居住地で割付
回収結果	全体：149,522サンプル →うち、二次調査は38,623サンプル

参考3】関係人口の定義及び分類①

国土交通省

○　関係人口とは、移住や観光でもなく、単なる帰省でもない、日常生活圏や通勤圏以外の特定の地域と継続的かつ多様な形で関わり、地域の課題の解決に資する人などのことである。
○　本報告では、関係人口を関係人口（訪問系）及び関係人口（非訪問系）に大別するとともに、関係人口（訪問系）の関わり先の地域における過ごし方等を踏まえ、５つの大分類を定義している。

【関係人口（訪問系）】
日常生活圏、通勤圏、業務上の支社・営業所訪問等以外に定期的・継続的に関わりがある地域があり、かつ、訪問している人（地縁・血縁的な訪問者を除く）

＜大分類＞地域における過ごし方に応じて分類（地域との結びつき度が強いものから説明）
【直接寄与型】
産業の創出、商店街の空き店舗有効活用の活動、朝市・マルシェへの出店活動、ボランティア、地域資源・まちなみの保全活動、まちおこし・むらおこしにつながるようなプロジェクトの企画・運営、又は協力・支援等
【就労型（現地就労）】
地元の企業・事業所での労働（地域における副業）、農林漁業への就業、農林漁業者へのサポート（援農等）
【就労型（テレワーク）】
本業として普段行っている業務や仕事（テレワークなど）、訪問地域外の業務や仕事（テレワーク/副業など）
【参加・交流型】
地域の人との交流やイベント、体験プログラム等に参加
【趣味・消費型】
地縁・血縁先以外で、地域での飲食や趣味活動等を実施（他の活動をしていない）

【関係人口（非訪問系）】
ふるさと納税、クラウドファンディング、地場産品等購入、特定の地域の仕事の請け負い、情報発信、オンライン活用

（参考）
【地縁・血縁的な訪問者】
地縁・血縁先を訪問している人（帰省を含む、地縁・血縁先の訪問を主な目的として地域を訪れている人）、及び特定の生活行動や用務を行っている人

31

参考4】関係人口の定義及び分類②

国土交通省

○　関係人口（訪問系）の分類の定義は以下のとおり。

地域との結びつき度の強さ

小 ← → 大

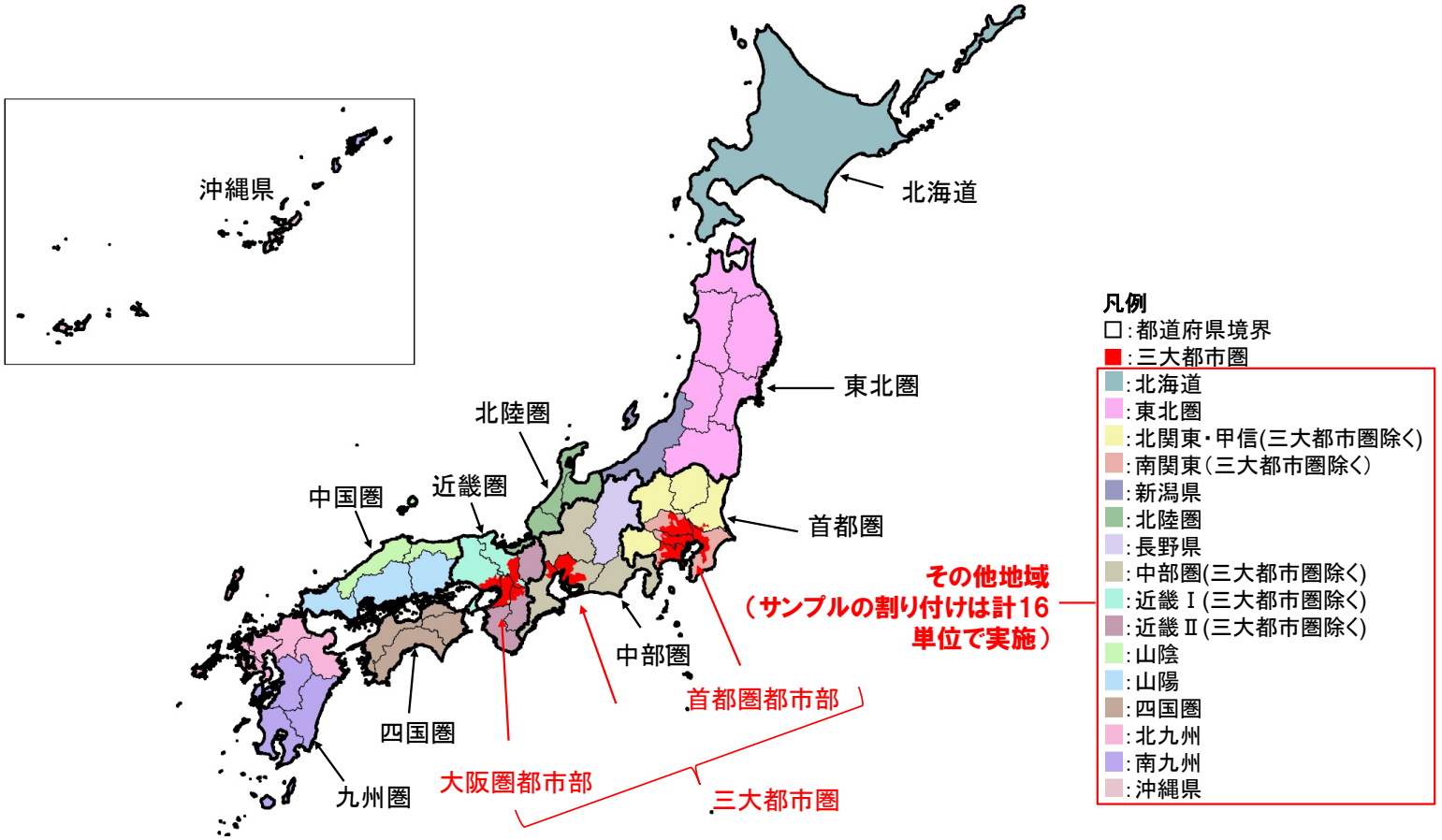
関わり先の地域における過ごし方の「小分類」	関わり先の地域における過ごし方の「中分類」	関わり先の地域における過ごし方の「大分類」					
		趣味・消費型	就労型（テレワーク） テレワーク等	参加・交流型	就労型（現地就労） 現地就労+テレワーク等	就労型（現地就労） 現地就労	直接寄与型
		【滞在場所の条件】 ・滞在場所に「自分、家族が所有等する物件」・「親族が所有等する物件」を含まないもの	【滞在場所の条件】 ・なし	【滞在場所の条件】 ・なし	【滞在場所の条件】 ・なし	【滞在場所の条件】 ・なし	【滞在場所の条件】 ・なし
地域のまちおこし・むらおこしにつながるようなプロジェクトの企画・運営、又は協力・支援等	地域づくりの企画への参加	×	×	×	×	×	●
地域に新たな仕事（産業）を創出するなどの活動への参加		×	×	×	×	×	●
地域でのボランティアや共助活動への参加	地域保全活動の参加	×	×	×	×	×	●
農地、水路、森林等の地域資源の共同保全活動への参加		×	×	×	×	×	●
まちなみ保全などの共同活動への参加		×	×	×	×	×	●
商店街の空き店舗有効活用に関する活動への参加	空き店舗や朝市等の利活用	×	×	×	×	×	●
朝市・マルシェへの出店に関する活動への参加		×	×	×	×	×	●
地元の企業・事業所での労働（地域における副業）	地域内産業活動の参加（現地就労）	×	×	×	●	●	△
農林漁業への就業		×	×	×	●	●	△
農林漁業者のサポート（援農等）		×	×	×	●	●	△
祭りや地域体験プログラム等への参加	イベント等地域交流の参加	×	△	●	△	△	△
教養・学習の場への参加		×	△	●	△	△	△
地域の交流拠点などで創発されるプロジェクトやコミュニティへの主体的な参加		×	△	●	△	△	△
地域の人との交流・コミュニケーションを楽しむ、人脈をつくる		×	△	●	△	△	△
本業として普段行っている業務や仕事（テレワークなど）	地域外産業活動の参加（テレワーク/副業）	×	●	×	●	×	△
訪問地域外の業務や仕事（テレワーク／副業など）		×	●	×	●	×	△
地域において友人や知人との交流・コミュニケーションを楽しむ	趣味・消費活動または友人・知人との交流の参加	△又は▲	△	△	△	△	△
地域ならではの飲食や買い物（地場産品の購入等）		●	△	△	△	△	△
自分の趣味や地域の環境を楽しむ活動		●	△	△	△	△	△
市民農園・農業体験農園への参加		●	△	△	△	△	△
自家消費農業等の取組		●	△	△	△	△	△
墓参、家族・親族等の世話、面会、同窓会等	自己の用務	●	△	△	△	△	△
自己の用務、生活行動等（日常的な買物、飲食、通院、生活サービス享受等）		●	△	△	△	△	△
ふるさと納税によって、地域を継続的に応援	非訪問の活動を実施	△	△	△	△	△	△
クラウドファンディングによって、地域を継続的に応援		△	△	△	△	△	△
地場産品等を購入することにより、地域を定期的・継続的に応援		△	△	△	△	△	△
遠隔で地域のためになる仕事を請け負い		△	△	△	△	△	△
SNS等で地域の情報発信を行い応援		△	△	△	△	△	△
オンライン（zoom、Slack等）を活用して、地域と継続的に関わっている		△	△	△	△	△	△
地域から応援・支援を受ける等の交流を行っている		△	△	△	△	△	△

※●：いずれか必ず含む、△：含まれても含まれていなくてもよい、▲：当該過ごし方（又は非訪問の過ごし方）のみでもよい、×：含まない
※関係人口（訪問系）以外の分類（地縁・血縁的な訪問者等）の詳細な設定方法は補足資料で整理

【参考5】関係人口の実態把握　調査対象範囲

国土交通省

○　関係人口の実態を把握するために、三大都市圏（昨年度調査範囲と同様）及びその他の地域を調査対象範囲として設定。
○　その他の地域における地域区分は、広域地方計画区域等を基本として、主要統計調査における地域区分（総務省のガイドライン）との差異を考慮しながら計16の地域区分を設定。



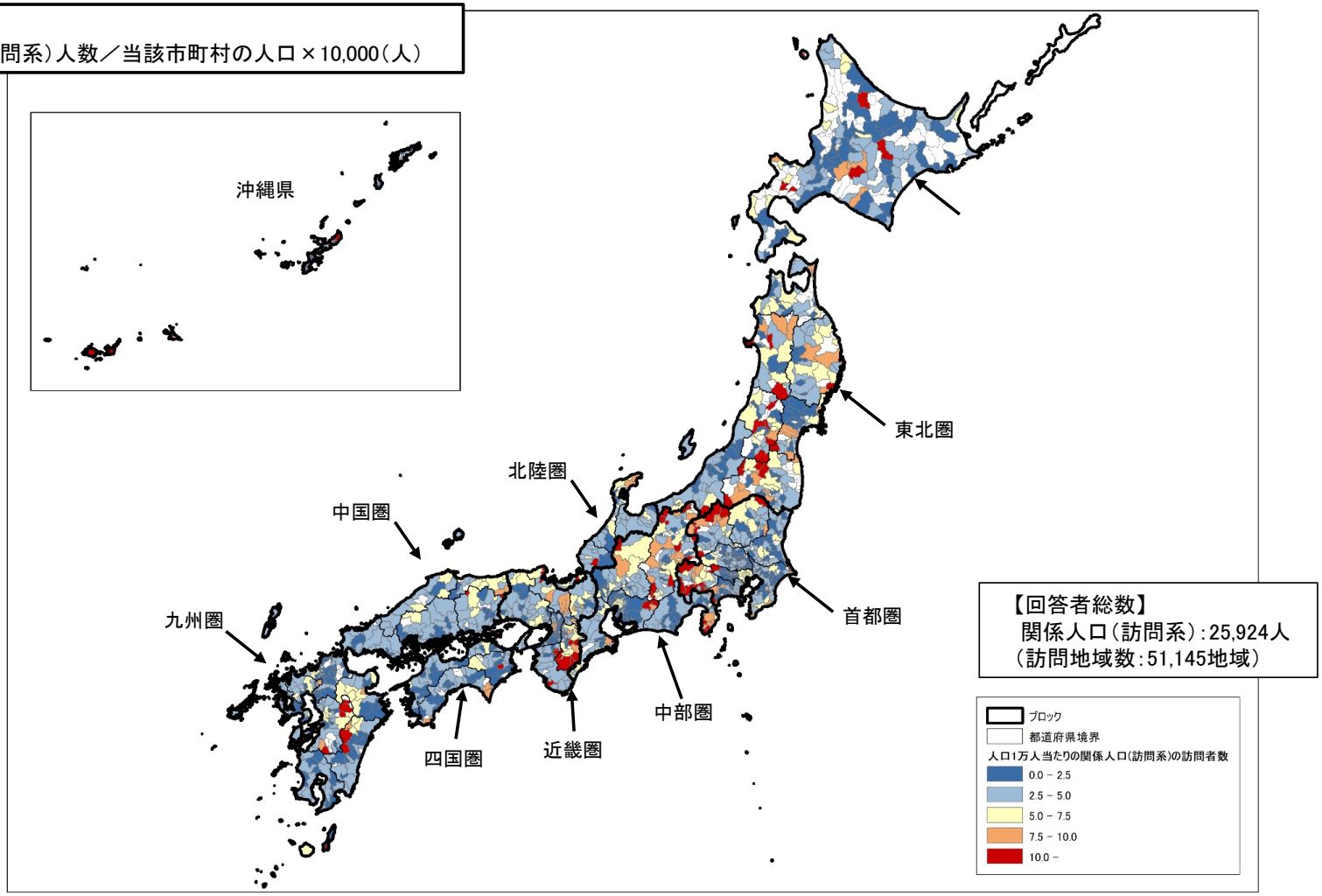
33

【参考6】 関係人口（訪問系）と移住の関係

ー 関係人口（訪問系）の訪問先 ー

国土交通省

【計算方法】
関係人口（訪問系）人数／当該市町村の人口×10,000（人）

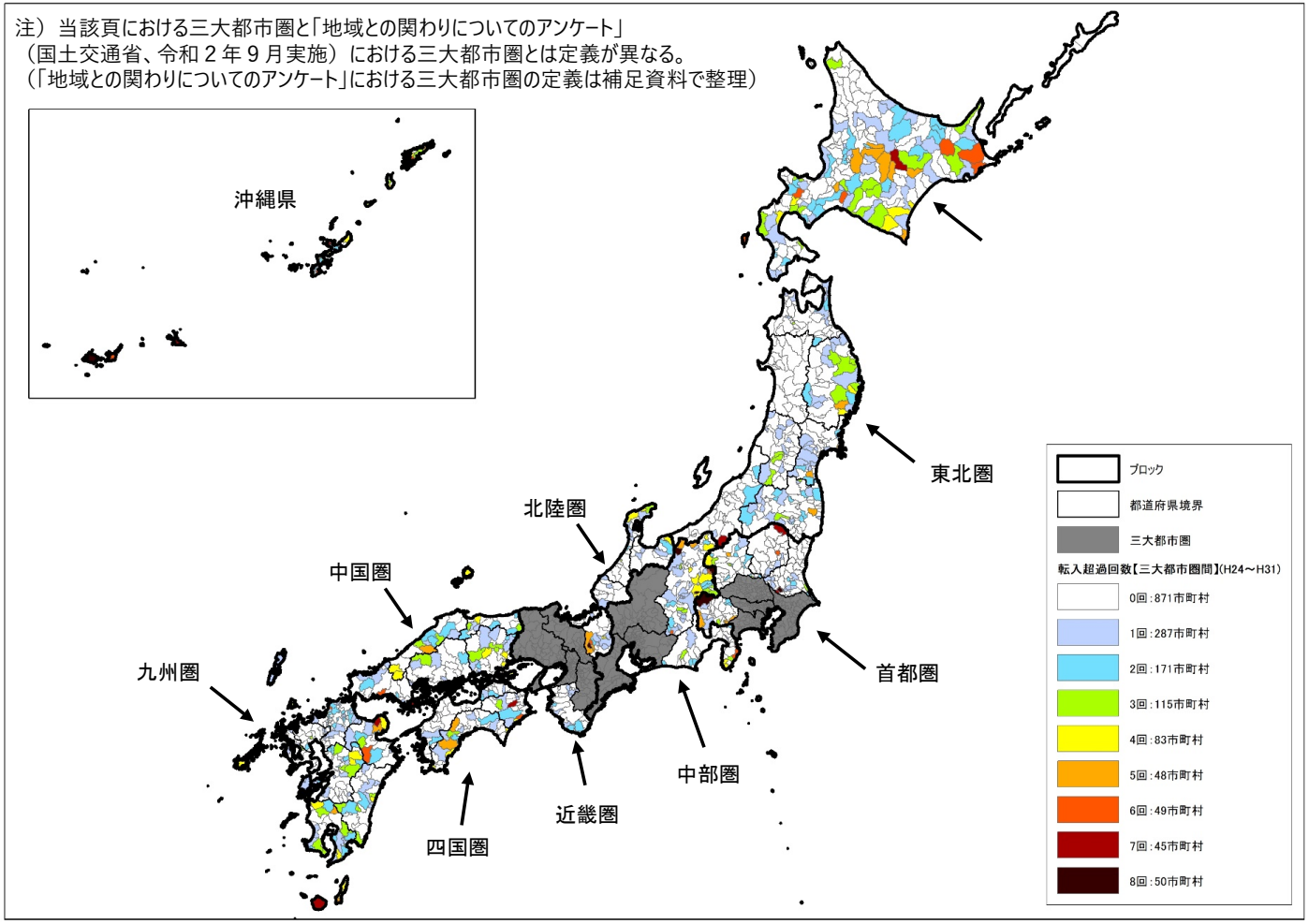


（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和２年９月実施）、訪問地域数ベース
※H27国勢調査を活用して、人口１万人当たりの関係人口（訪問系）の訪問者数を算出

【参考7】 関係人口（訪問系）と移住の関係
ー 三大都市圏からの転入超過回数の空間分布 ー

国土交通省

注）当該頁における三大都市圏と「地域との関わりについてのアンケート」
（国土交通省、令和２年９月実施）における三大都市圏とは定義が異なる。
（「地域との関わりについてのアンケート」における三大都市圏の定義は補足資料で整理）



資料：総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告（H24～H31）」

※各市町村と三大都市圏の都府県間毎の転入者、転出者数のデータを基に整理しており、「調査していないため該当数値がない」データについてはゼロと取扱いデータ処理していることから、社会増が生じていてもその状況が浮かび上がってこない市町村が相当程度あることが推測される。
※「調査していないため、該当数値がない」データについてはゼロと取扱いデータ処理。